

ISO9001の適用について

受注者は、ISO認証取得を活用した監督業務等の取扱いの適用を希望するときは、下記①から④までの書類の写しを提出し、監督職員と協議のうえ活用工事とすることができる。ただし、低入札価格調査等の対象となった場合を除く。

- ① ISO9001認証の取得に係る登録証の写し
② ISO9001の審査に係る書類（含否判定結果及び審査報告書）
③ 工事を担当する内部組織が、ISO9001認証を取得していることを示す書類
④ ISO9001認証の範囲が工事の内容に一致していることを示す書類

- 1. 活用工事の取消しの申出
ISO9001認証が取り消され、又はその維持が困難と見込まれるときは、速やかに監督職員に申し出なければならない。
2. 活用工事の取扱いの中止
上記活用工事の取消しの申し出、又は受注者の検査記録の確認及び品質マネジメントシステムの運用状況の把握を行った結果、不適合が多いと認められたときは、この取扱いを中止し、通常の監督業務を実施するものとする。

- 3. 品質マネジメントシステムの取扱い
(1) 受注者は、品質マネジメントシステムに基づき作成する品質計画書に記載すべき事項は、品質方針及び品質目標の他に下記に示す項目を施工計画書に記載し、工事着手前までに工事監督員に提出し、承諾を得なければならない。
1) 検査計画及び確認・立会計画
2) 各監視・測定（検定）の担当者及び承認者、資格
3) 当該工事現場に対する内部監査計画
4) 監視機器及び測定機器管理計画
5) トレーサビリティ管理計画
6) 不適合管理計画
(2) 特定共同企業体の場合は、その代表者の品質マネジメントシステムを共同企業体の品質マネジメントシステムとして適用するものとする。

4. 工事管理
工事管理にあたっては「公共建築におけるISO9001：2000適用 機械設備工事施工管理要領（公共建築協会）」を参考とする。

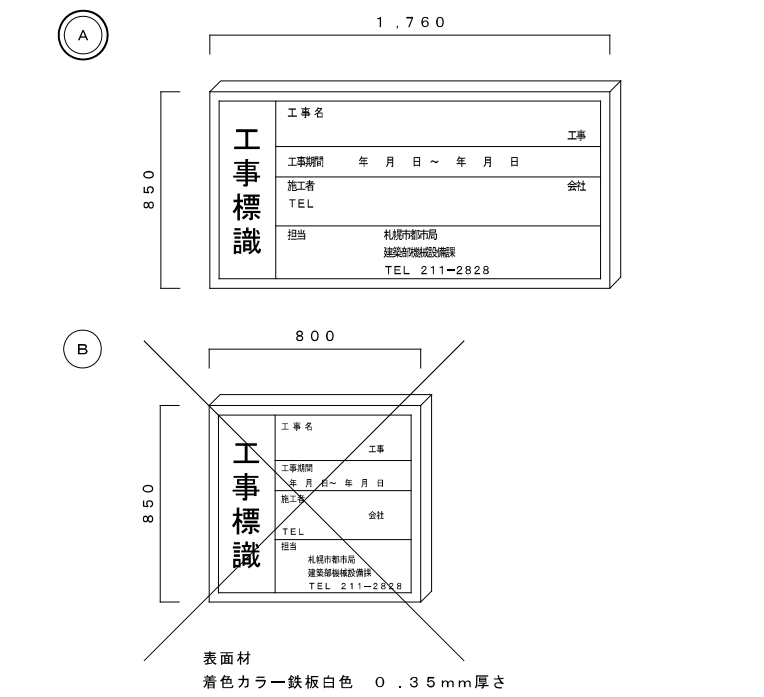
エレベーター設備 図内機器表（EV/6・EV/16）による。

- 1. 用途 ●一般乗用 ○人荷共用 ○寝台用 ○その他（ ）
2. 付加仕様 ●視覚障がい者仕様 ●車椅子仕様 ○BL仕様
3. 制御方式 ●可変電圧周波数（インバーター）制御
○交流帰還制御
4. 駆動方式 ●ロープ式 ●機械室あり（厚生棟）
●機械室なし（体育棟）
5. 運転操作方式 ○単式自動方式
●乗合全自動方式 ●乗りすり越方式
○特定階復帰方式
○群管理方式
6. 管制運転等 ●地震管制運転（●S波 ●P波） ●火災管制運転
○自家発管制運転 ●停電時自動着床装置 ●冠水時管制運転
7. 耐震クラス ○S₁ ●A₁
8. 積載荷重・定員 厚生棟 1,000kg（15人乗） 体育棟 750kg（11人乗）
9. 定格速度 体育棟 ●4.5m/min 厚生棟 ●6.0m/min
○その他（ m/min）
10. 停止階・停止数 厚生棟 B1階～5階（6停止）、体育棟 B1階～2階（3停止）
11. トランクルーム ○あり ●なし
12. 戸型式 ○2枚戸片開き ●2枚戸両開き ○その他（ ）
13. 出入口 ●一方向 ○貫通二方向 ○直角二方向
14. 防犯窓 ○あり（網入りガラス窓） ●なし
15. 乗場枠 ○フロントパネル幕板付一体型構造
●小枠 ●大枠（幕板○あり ●なし）
○鋼板製 ●塗装仕上げ
○化粧鋼板
○シート貼り仕上
●ステンレス製 ●ヘアライン仕上げ
○鏡面仕上げ
○バイブレーション仕上げ
○メーカー標準仕上げ
16. かご敷居 ○ステンレス製 ●硬質アルミ製
17. 乗場敷居 ○ステンレス製 ●硬質アルミ製
18. 乗場戸 ●鋼板製 ●塗装仕上げ
○化粧鋼板
○シート貼り仕上
●ステンレス製 ●ヘアライン仕上げ（エッチング●あり ○なし）
○鏡面仕上げ（エッチング○あり ○なし）
○メーカー標準仕上げ
19. 仕上色 ●製作者標準仕様 ○発注者仕様
20. 連絡装置 ●同時通話式インターホン
21. 連絡装置電源 ●自動充電式蓄電池
22. 昇降路救出口 ○あり ●なし

23. その他 ○その他の仕様の詳細は「公営住宅用エレベーター仕様書」による。

- 小荷物専用昇降機設備 図内機器表による。
●工場検査立会い ○あり ●なし
●無償保守期間 ●メーカー標準 ○その他（ ）

工事標識



工事区分

Table with 5 columns: Item, Building, Mechanical, Electrical, Elevator, Remarks. Lists various equipment like elevators, fans, and lighting.

週休2日試行工事の実施について

- (1) 受注者は、週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者へ協議を行い、協議が整った場合に週休2日による施工を行うことができる。
(2) 週休2日とは、対象期間において、土日・祝日に関わらず、週休2日（4週8休）以上の現場閉所（現場休息）を行うことをいう。
(3) 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。
(4) 現場休息とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
(5) 週休2日（4週8休）以上とは、対象期間内の現場閉所（現場休息）日数の割合（以下、「現場閉所（現場休息）率」）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。
(6) 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努める。
(7) 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
(ア) 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
(イ) 受注者は、実施結果を工事月報等により定期的に発注者へ報告する。
(8) 週休2日の実施状況について、発注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力する。
(9) 週休2日を実施したことが認められる場合は、設計変更により工事別に以下の経費の補正を行う。
現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正する。
(10) 「週休2日試行工事」の検証を行うため、受注者を対象としたアンケート調査に協力する。
(11) その他の事項については、週休2日試行工事要領による。

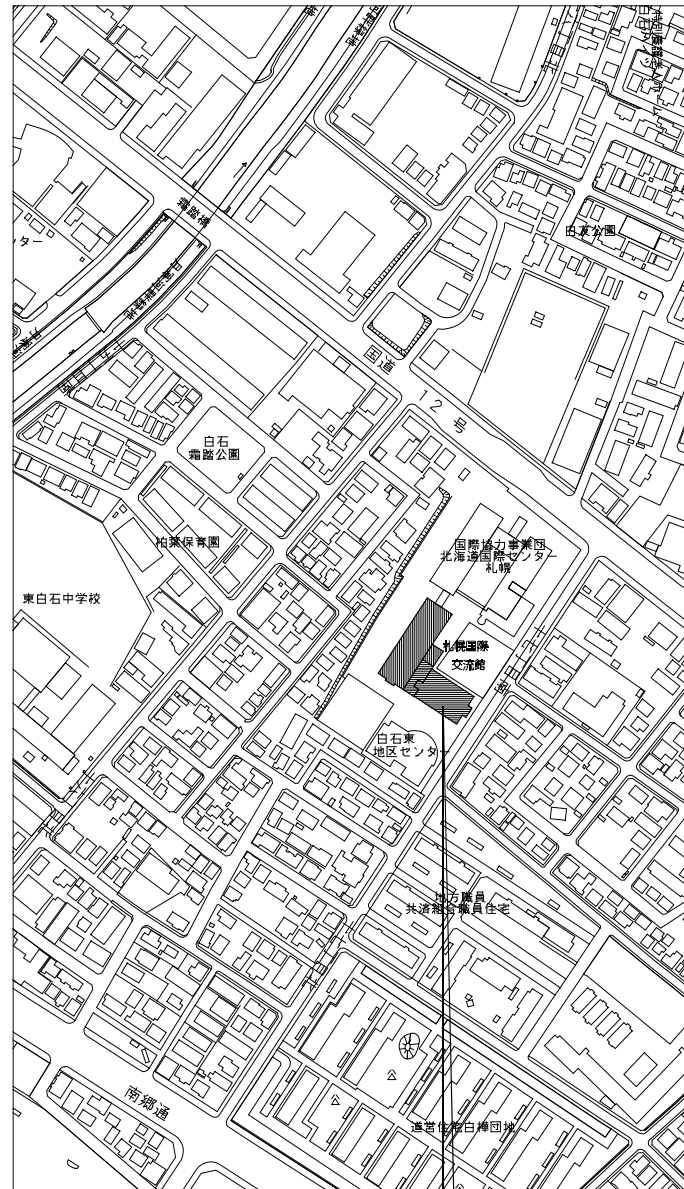
アスベスト含有製品の処理等

- アスベストの処理については、『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』等の関係法令と併せて『特定粉じん排出等作業における飛散防止対策マニュアル（事業者向け）』(URL:http://www.city.sapporo.jp/kankyo/taiki_osen/kisei/asbesto/syori.html)に従い、必要な措置を講じること。
1. 事前調査等
(1) 施工計画書の作成にあたっては、「アスベスト調査票」並びに「当該施設のしゅん功図等」を貸与するので、図面及び現場の目視調査で施工場所におけるアスベスト及びその有害物質の有無を確認すること。
(2) アスベスト及びその有害物質の使用が不明な見え隠れ部分の調査については、保護具を装着して、必要に応じて建材を湿潤に保ちながら手ばらして行い、新たにアスベスト及びその有害物質を発見した場合には、速やかに作業を中止し、監督員と施工方法等について協議すること。
2. アスベスト含有製品の処理等
(1) アスベスト含有製品の仕様
○機器類（機器： 台）
○耐火二層管
○フランジバックン（煙道、配管） ※バックンはフランジを付けたまま切り離し、
○ダクトバックン 非飛散性アスベストとして適切に処理すること。
○外壁塗装下地調整材
処理を行う範囲は、図示による。

- (2) 施工調査
アスベスト含有製品の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。
① アスベスト含有製品使用部位の確認
② アスベスト含有製品の種類、厚さ等の確認
③ アスベスト含有製品使用数量の確認
④ 施工範囲等の確認
なお、含有製品の使用部位、種別または使用範囲等に変更が生じた場合は、監督職員と協議のこと。
(3) 作業管理者
「石綿作業主任技能講習修了者」、又は「平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者」の資格を有する作業管理者を選任し管理させること（作業時、調査時等）。
(4) 作業標準
アスベスト含有製品処理作業の標準
① アスベスト含有製品の撤去
(ア)アスベスト含有製品の撤去は、内装材及び外部建具等の撤去に先がけて行う。
(イ)建物内部で撤去作業を行う場合は、外部建具を閉鎖するとともに、ガラスの破損箇所又は換気扇枠等で粉じんが外部に飛散するおそれがある箇所を、ビニールシート等で塞ぐものとする。
(ウ)アスベスト含有製品の撤去は、可能な限り破損又は破断を伴わない方法で行うものとし、原則として「手ばらし」とする。なお、建物外部のアスベスト含有製品を撤去する場合は、出来る限り原形のまま撤去する。
(エ)撤去作業中は、散水その他の方法により、アスベスト含有製品を常に湿潤な状態として作業を行う。
(オ)撤去作業には、防じんマスク、防護めがね及び作業衣を着用させる。
(カ)撤去作業後、アスベスト含有製品の破片、破断粉及び作業衣等に付着した粉じんが残存しないよう、真空掃除機等により、清掃及び後片付けを十分に行う。
② アスベスト含有製品の集積、運搬等
(ア)撤去したアスベスト含有製品の集積及び積み込みにあたっては、高所より投下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。
(イ)細かく破砕されたアスベスト含有製品は、湿潤化の上、丈夫なビニール袋に入れる等の、飛散防止の措置を講じる。
(ウ)撤去したアスベスト含有製品を運搬するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、一般の内装材と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止の措置を講じる。また、保管場所には、アスベスト含有製品の保管場所であることの表示を行う。
(エ)アスベスト含有製品の運搬にあたっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。
(オ)アスベスト含有製品の撤去、集積、積み込み及び保管等の処理が完了した場合は、速やかに監督職員に報告し、確実に処理されたかの確認を受ける。
③ アスベスト含有製品の処分等
(ア)本工事で発生するアスベスト含有製品は、下記で示す処分施設で処分する。
なお、変更が生じた場合は監督職員と協議のこと。（調書を監督職員に提出する）
マニフェストには、アスベスト含有製品であることを明示する。
(イ)撤去されたアスベスト含有製品の処分が完了した場合は、マニフェストを監督職員に提出し、処分が確実に行われたことの確認を受ける。

その他

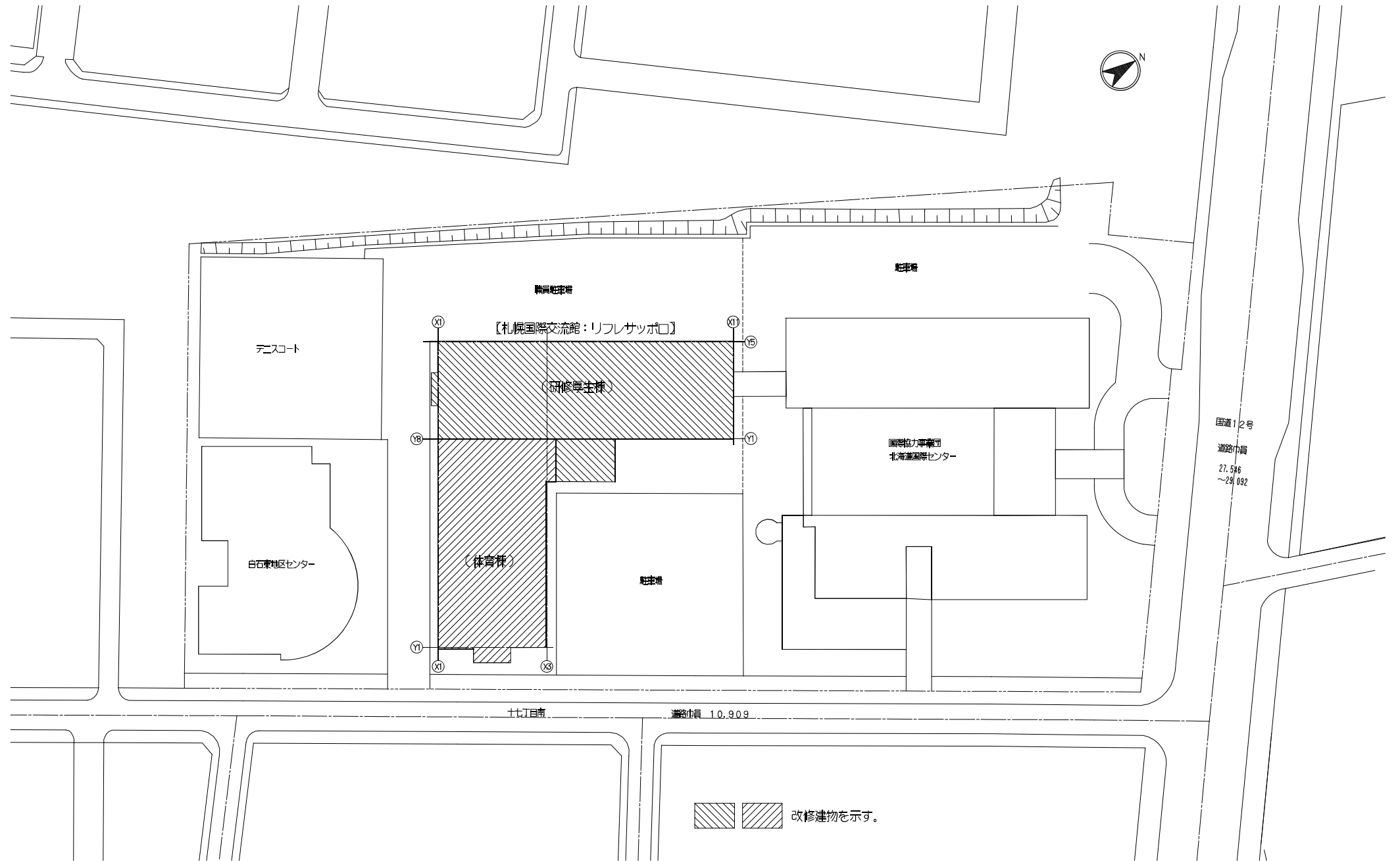
- 1. 酸欠等作業場所
第1種、第2種酸欠場所においては、法律等関係法令を遵守し安全に努めること。
2. 工事記録写真
工事記録写真については、機械設備工事記録写真撮影要領（機械設備工事提出書類、様式集及び施工要領集）（平成25年度版）、営繕工事写真撮影要領（平成31年版）及び営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による工事写真撮影ガイドブック（機械設備工事編）平成30年版による。印刷等の出力については、①プリンターはフルカラーで300dpi以上、②用紙・インク等は、通常の使用条件のもとで3年間程度顕著な劣化が生じないものを使用する。また、デジタルカメラ使用の場合は記録画素数を1280×960以上とする。



工事場所：札幌市白石区本通16丁目南1002-1



付近見取図 S=1/1,000



配置図 S=1/500

工事施工条件
・施設休館期間は、令和4年5月1日～令和5年2月28日とする。



株式会社 一級建築士事務所
共伸設備設計事務所

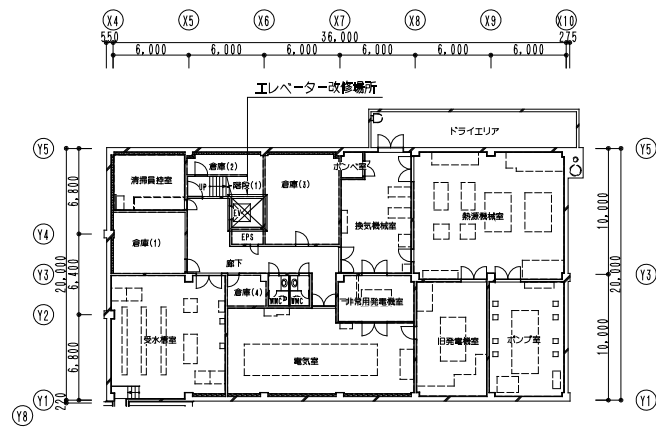
北海道知事登録 (石)第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩基

承認	担当	製図

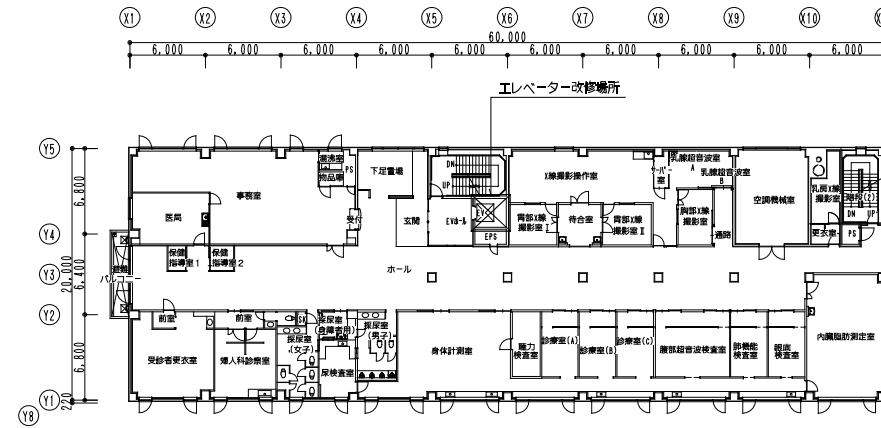
縮尺
A1: 1/500, 1000
A3: 1/1000, 2000
設計年月日
R 3・10

工事名
リフレサッポロ改修エレベーター設備工事
図面名
付近見取図・配置図

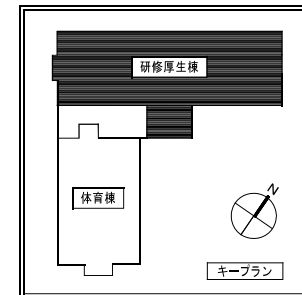
図番
EV / 3



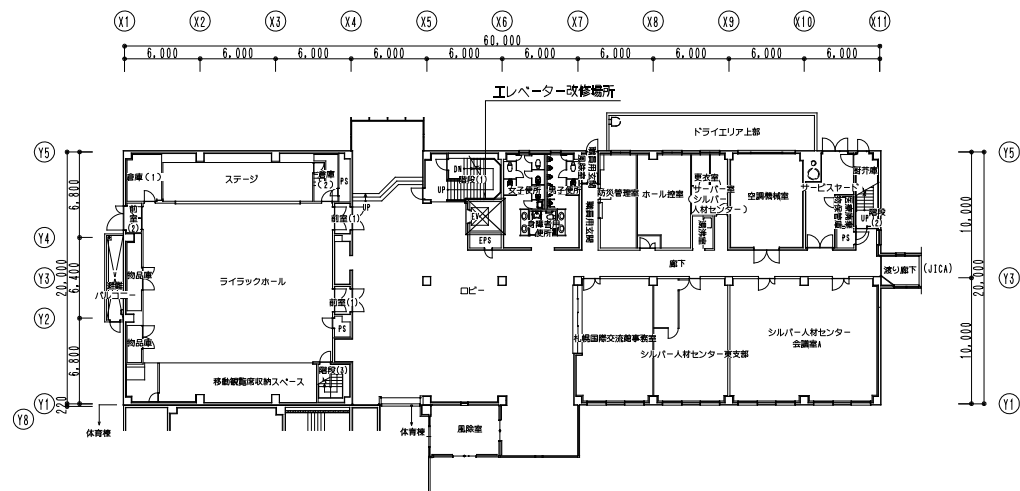
地下1階平面図 S=1/300



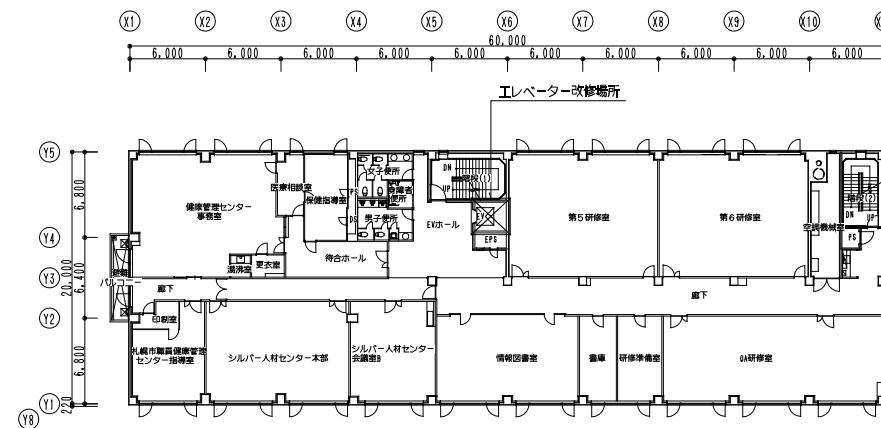
3階平面図 S=1/300



10.000
20.000
30.000

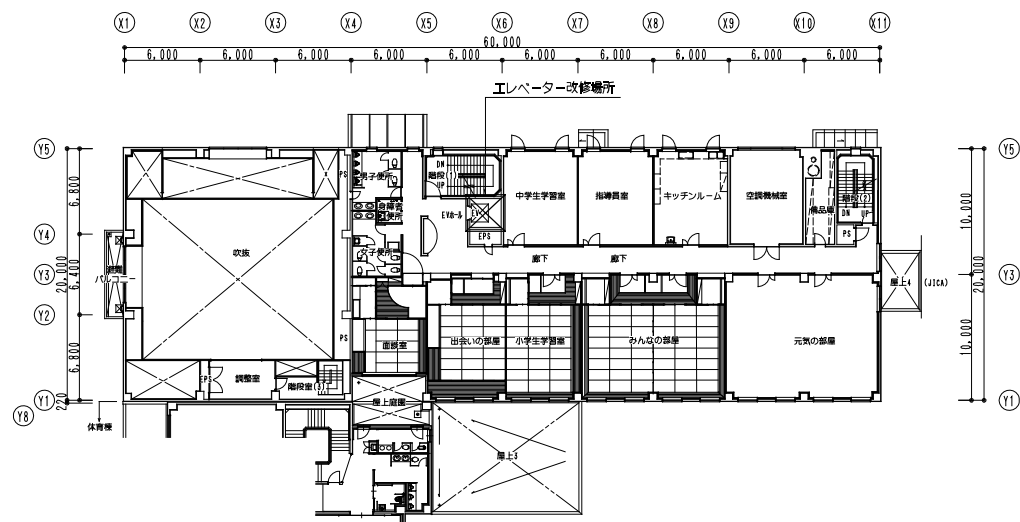


1階平面図 S=1/300

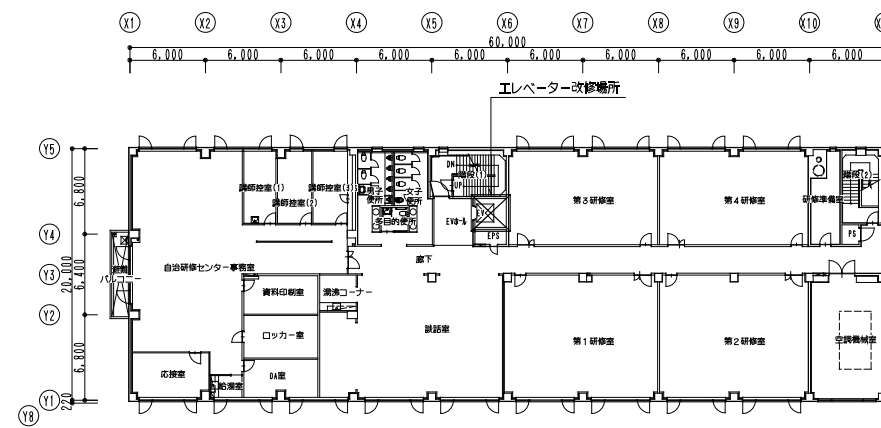


4階平面図 S=1/300

10.000
20.000
30.000

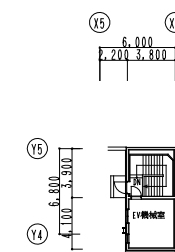


2階平面図 S=1/300

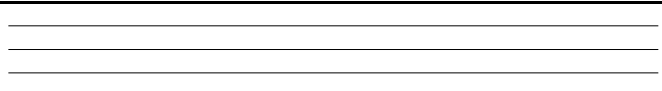


5階平面図 S=1/300

10.000
20.000
30.000



R階平面図 S=1/300



株式会社 共伸設備設計事務所

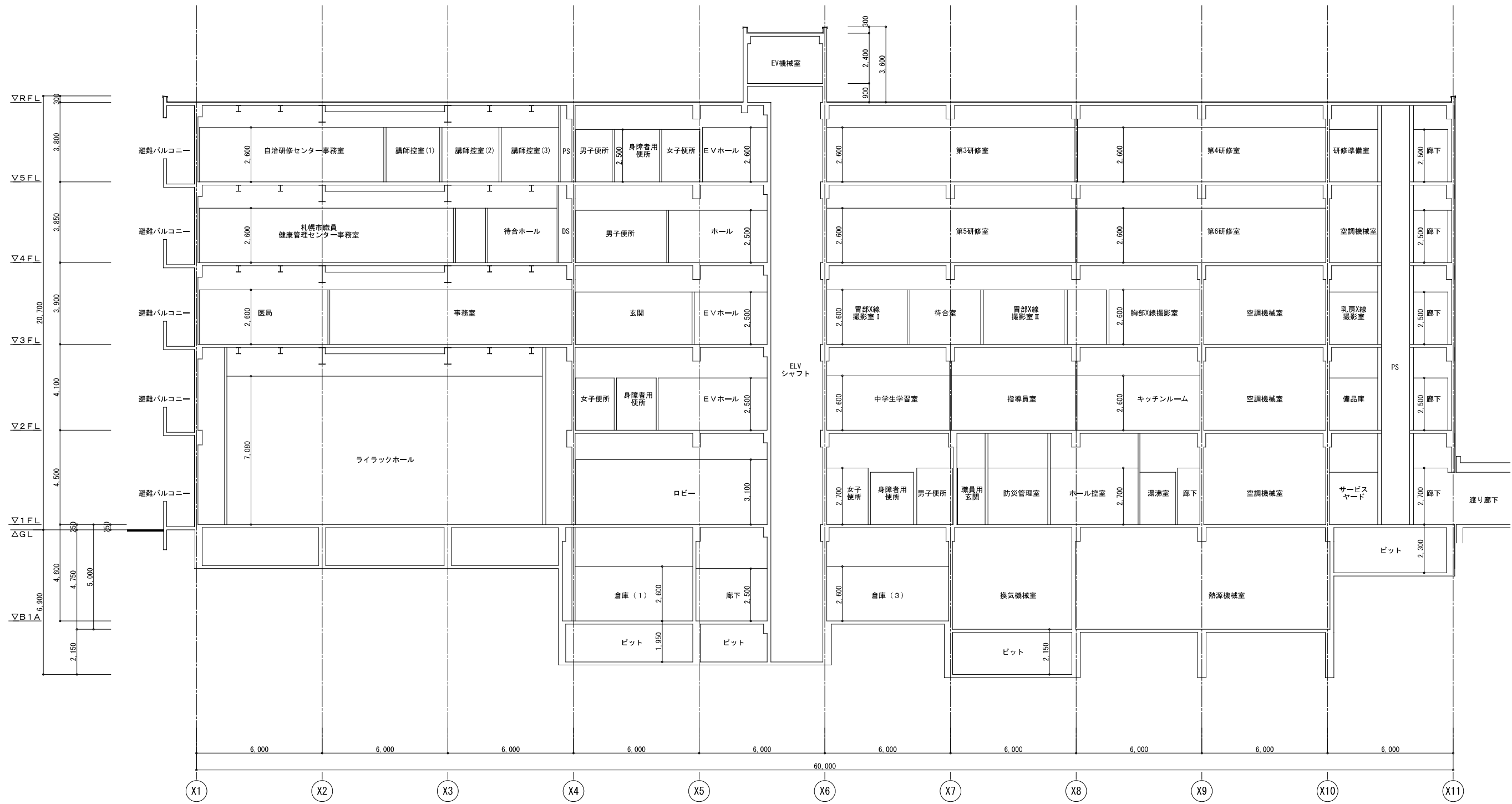
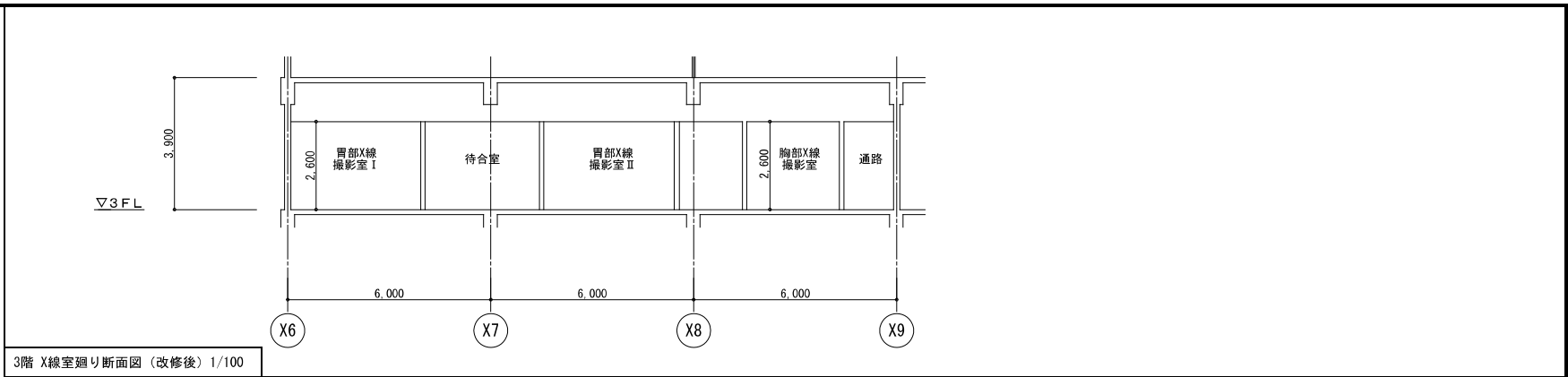
北海道知事登録 (石) 第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩基

承認 担当 製図
山田 早川 早川

縮尺 A1: 1/300
A3: 1/600
設計年月日 R 3・10

工事名 リフレサポロ改修エレベーター設備工事
図面名 厚生棟 各階平面図

図番 EV / 4



株式会社 一級建築士事務所
共伸設備設計事務所

北海道知事登録 (石) 第 3038号
 一級建築士登録 第230654号
 設備設計一級建築士登録 第 206号
 早川 浩基

承認	担当	製図
山田	早川	早川

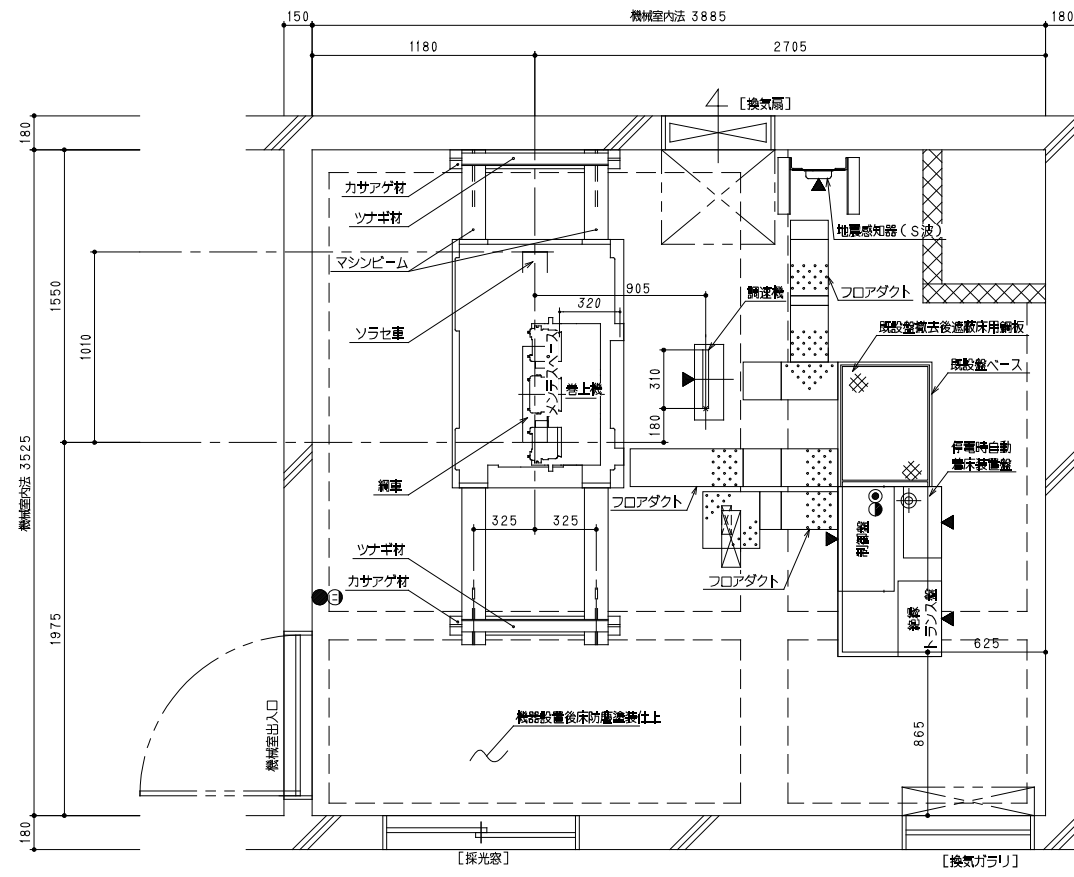
縮尺 A 1 : 1 / 100
 A 3 : 1 / 200
 設計年月日 R 3・10

工事名 リフレサッポロ改修エレベーター設備工事
 図面名 厚生棟 建物断面参考図

リフレサッポロ 改修工事仕様書				既設仕様	改修仕様	既設流用	取替	新規
基本仕様	①	号機	1号機(ロープ式)厚生棟	同左				
	②	用途	乗用(車イス)	同左				
	③	制御方式	可変電圧可変周波数制御方式(インバーター)	同左				
	④	操作方式	乗合全自動方式(セレクトプ・コレクティブ)	同左				
	⑤	積載質量(定員)	1000kg/15名	同左				
	⑥	速度	60m/min	同左				
	⑦	電源	三相交流200V 50Hz	同左				
	⑧	停止箇所	B1・1-5階・6階	同左				
	⑨	カゴ内法(間口x奥行)	1600x1500	同左				
	⑩	出入口(巾x高さ)	900x2100	同左				
	⑪	戸形式	2枚戸中央開き	同左				
	⑫	戸閉方式	電動式	同左				
	⑬	レール	カゴオモリ13kg/m	同左				
	⑭	緩衝器	バネ式	同左			○	
制御改修機器	⑮	巻上機	ウォーム歯車式	PMギヤレス巻上機			○	
	⑯	電動機	交流電動機 7.5kW	交流電動機 7.5kW			○	
	⑰	ツナ車	径 650mm	径 810mm			○	
	⑱	ソラセ車	径 480mm	無			○	
	⑲	ロープ	12X51:1	同左			○	
	⑳	制御盤	マイコン制御方式	マイコン制御方式(戸開走行保護装置対応)			○	
	㉑	制御ケーブル	エレベーター制御用平型ビニルケーブル	同左			○	
	㉒	カゴ上制御部	無	交流制御用				○
	㉓	カゴドアモータ	交流制御用	同左			○	
	㉔	終点スイッチ	交流制御用	同左			○	
	㉕	連絡装置	インターホン	同左			○	
	㉖	乗場位置表示器	アナログ表示	アナログ表示			○	
	㉗	乗場ボタン	ステンレスプレート マイクロストロークボタン方式	ステンレスプレート タクタイルボタン			○	
	㉘	カゴ操作盤	ステンレスプレート マイクロストロークボタン方式	ステンレスプレート タクタイルボタン			○	
㉙	カゴ内位置表示器	デジタル表示(正カゴ操作盤組込)	液晶表示またはデジタル表示(正カゴ操作盤組込)			○		
付加仕様	㉚	地震管制運転装置	有(S波)	有(P波+S波 3段設定)リスタート機能付			○ ※1	
	㉛	戸開走行保護装置(UCMP)	無	有				○ ※2
	㉜	車イス仕様(鏡・手すり)	有	有(鏡・凸面鏡、手すり両側面と正面。手すり、鏡は改修)			○	
	㉝	視覚障がい者仕様	有	同左			○	
	㉞	火災時管制運転装置	有	同左			○	
	㉟	オートアナウンス	有	同左			○	
	㊱	監視盤へ接点出力	有	同左			○(盤は流用)	
	㊲	光電装置	有	多光軸ドアセンサー			○	
	㊳	ドアセンサ	無	光電式ドアニック				○
	㊴	停電時自動着床装置	有	同左			○	
意匠仕様	㊵	乗場 三方枠	1F小枠 ステンレスヘアライン仕上、B1、2-5F大枠ステンレスヘアライン	同左		○		
	㊶	乗場 扉	1階 ステンレスヘアラインエッチング仕上 B1・2階~5階 鋼板塗装仕上	同左			○	
	㊷	乗場 敷居	硬質アルミ製	同左		○		
	㊸	カゴ室 天井	乳白色樹脂グローブ	メーカー標準仕様			○	
	㊹	カゴ室 出入口上板	化粧鋼板	同左			○	
	㊺	カゴ室 出入口柱	ステンレスヘアライン仕上	ステンレスヘアライン仕上			○	
	㊻	カゴ室 袖壁	化粧鋼板(操作盤側:ステンレスヘアライン仕上)	ステンレスヘアライン仕上			○	
	㊼	カゴ室 正・側面壁	化粧鋼板	同左			○	
	㊽	カゴ室 巾木	ステンレスヘアライン仕上	同左			○	
	㊾	カゴ室 扉	化粧鋼板	同左			○	
	㊿	カゴ室 敷居	硬質アルミ製	同左			○	
	㋀	カゴ室 床、タイル	ビニルタイル 2mm	同左			○	
	㋁	カゴ室 キックプレート	ステンレスヘアライン仕上	同左			○	
	その他	㋂	フェッシャープレート	無	同左		○	
㋃		火災時管制運転表示灯	有(カゴ操作盤組込)	同左			○	
㋄		停電時自動着床装置表示灯	有(カゴ操作盤組込)	同左			○	
㋅		耐震対策	有(昇降機耐震設計・施工指針 1981年版)	有(昇降機耐震設計・施工指針 2016年版)			○	
㋆		BGMスピーカー	有	同左			○	
㋇		照明トランス	有	同左			○	
㋈	インターホン及び故障時の接点支給	有	同左			○		

※1:2014年建築基準法対応 令第129条の10第3項第2号 (平成20年国土交通省告示第1536号)

※2:2014年建築基準法対応 令第129条の10第3項第1号



機械室平面図 S1/20
▼は点検面を示す

名称	既設	新設	備考
制御盤		●	
停電時自動復帰装置		●	
絶縁トランス盤		●	
地震感知器(S波)		●	
既設盤撤去後遮断用銅板		●	
既設盤ベース	●		床面より H=150
フロアダクト		●	H=80

名称	既設	新設	備考
機器設置後床面遮断仕上げ		●	

名称	既設	新設	備考
巻上機		●	
鋼索		●	
ソラセ車		●	
鋼達機		●	
マシンビーム	●		H-250X125X6X9
カサアゲ材	●		
ツナギ材	●		

名称	既設	取替	備考
電源幹線引込	●		
AC100V点検用コンセント	●		
照明スイッチ	●		
専用電話回線		●	
火災時管制用番号線		●	HP1.2-2C
電気配線引込用貫通孔	●		

基本仕様	
号機名	研修・厚生棟
用途	乗用(車いす用)
制御方式	インバータ制御方式(電力回生無し)
運転操作方式	乗台全自動方式
積載	1000 kg 15名
速度	60 m/min
電源	200 V 50 Hz
巻上電動機	7.5 kW
停止地及び数	正階 B1.1-5 階
	6 箇所
かご内法	(開口) 1600 mm (奥行) 1500 mm
	(高さ) 2100 mm
出入口寸法	(開口) 900 mm (高さ) 2100 mm
戸の方式	2枚開引巻
戸の開閉	電動式
特記仕様	地震時管制運転(P, S波)
	リスタート運転機能付
	停電時自動復帰装置
	火災時管制運転
	高調波対策(絶縁トランス盤)
	耐震対策(耐震クラス A14)
戸開進行停電装置	
後見障がい者仕様	
音声案内装置	

造作性能取組番号
認定番号 CAS-0599 (請指第4108号)
B1.1-5 階 乗機戸は、上記認定品とする。
認定条件通り停電時自動復帰装置と火災時管制運転を合わせて設置しております。

造作エレベータ乗機ドア設置上の注意事項

- 造作エレベータ乗機ドア設置条件として、建物の火災感知番号をエレベータ制御盤へ供給いただく必要があります。
- 建物内で自動火災報知設備の設置義務が無い場合においても、造作エレベータ乗機ドア設置時のエレベータホールに煙感知器などの火災感知器を設備の上、火災感知番号をエレベータ制御盤へ供給願います。

下配番号をエレベータまで支給すること

火災発生番号 1点 (無電圧1A、平常時OFF、火災発生時ON連続、接点容量DC24V 0.1A) にし、配線の少ない番号とする。

電気設備一覧	
動力用電源	交流3相200V 50Hz
電気絶縁トランスカラー距離	65 mmマダ
引込幹線サイズ	14.0 mm ² X 3
アース線サイズ	3.5 mm ² X 1
照明用電源	交流単相100V 50Hz

電気設備必要容量	
動力用電源	トランス容量 7 kVA ブレーカ-50 A
照明用電源	トランス容量 1 kVA
換気設備必要容量	機械室エレベータ機器発熱量 5600 kJ/h 換気必要風量 660 m ³ /h



一級建築士事務所
株式会社 共伸設備設計事務所

北海道知事登録 (石) 第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩基

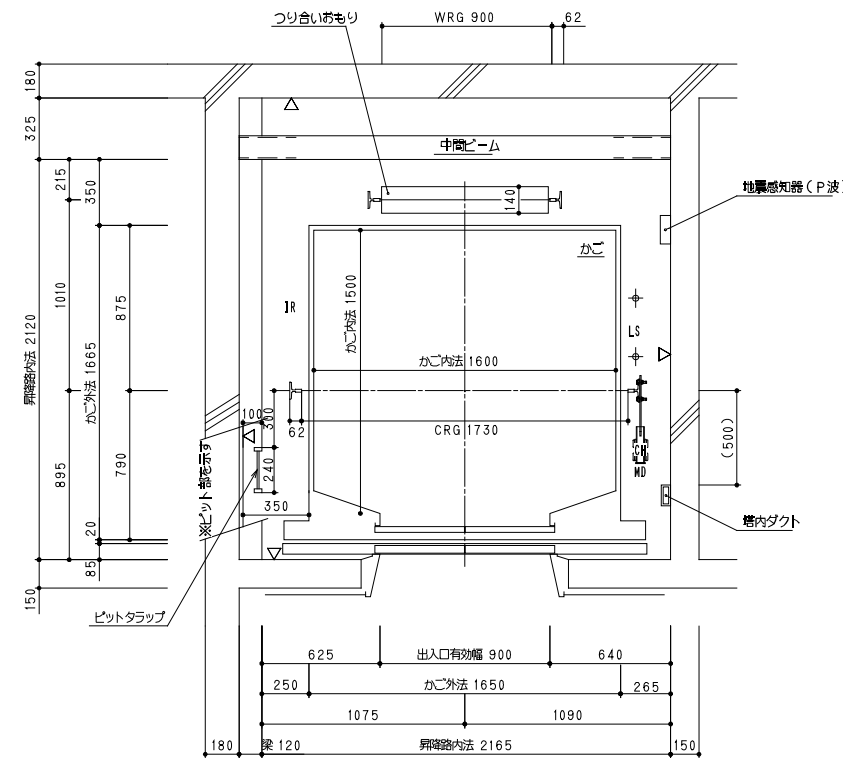
承認 担当 製図
山田 早川 早川

縮尺 A1: 1/20
A3: 1/40
設計年月日 R 3.10

工事名 リフレサッポロ改修エレベーター設備工事
図面名 厚生棟 エレベーター設備 機械室平面図 (改修)

名称	既設	新設	備考
レール	●		
かご	●		
つり合いおもり		●	
地震感知器 (P波)		●	最下階フロアレベル以下
中間ビーム	●		[-125×65×6 (構使用)]
塔内ダクト	●		
ピットタラップ	●		
配線ボックス		●	

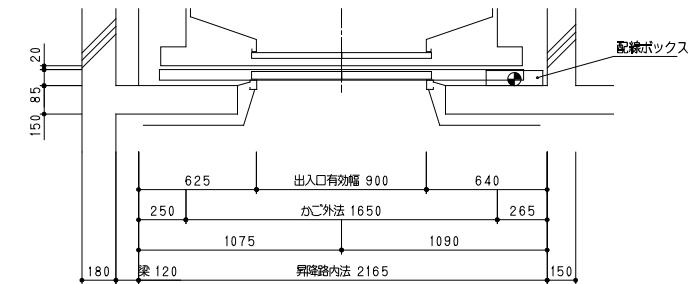
名称	既設	新設	備考
監視用配線	●		既設配線再使用【引込位置高さ: 1FL+2800】



昇降路平面図 S=1/20

(B1, 2-5階)

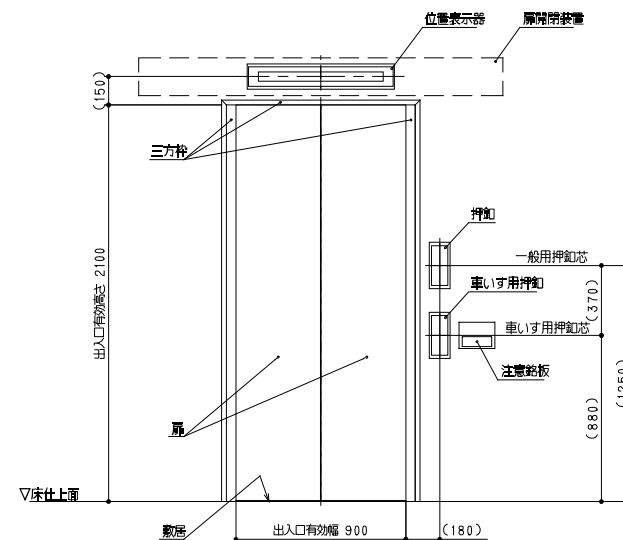
▽はピット仕上面を示す。



出入口周り平面図 S=1/20

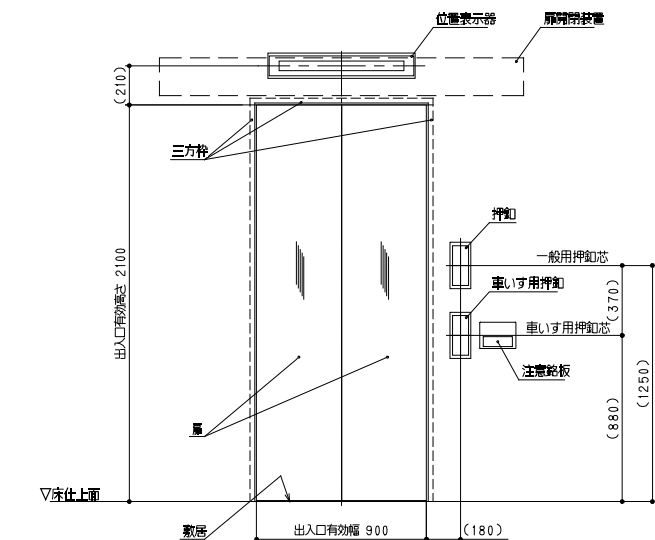
(1階)

名称	既設	新設	備考
三方枠 (全階)	●		
扉 (B1, 2-5階)		●	鋼板塗装仕上 (遮煙扉)
扉 (1階)		●	ステンレスヘアラインエッチング仕上 (遮煙扉)
扉開閉装置 (全階)		●	
敷居 (全階)	●		
位置表示器 (全階)		●	
押釦 (全階)		●	
車いす用押釦 (全階)		●	
注意銘板 (全階)		●	車いす・視覚障がい者用



出入口正面図 S=1/20

(B1, 2-5階)



出入口正面図 A=1/20

(1階)



株式会社

一級建築士事務所
共伸設備設計事務所

北海道知事登録 (石) 第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩 基

承認

山田

担当

早川

製図

早川

縮尺 A1: 1/20

A3: 1/40

設計年月日

R 3・10

工事名

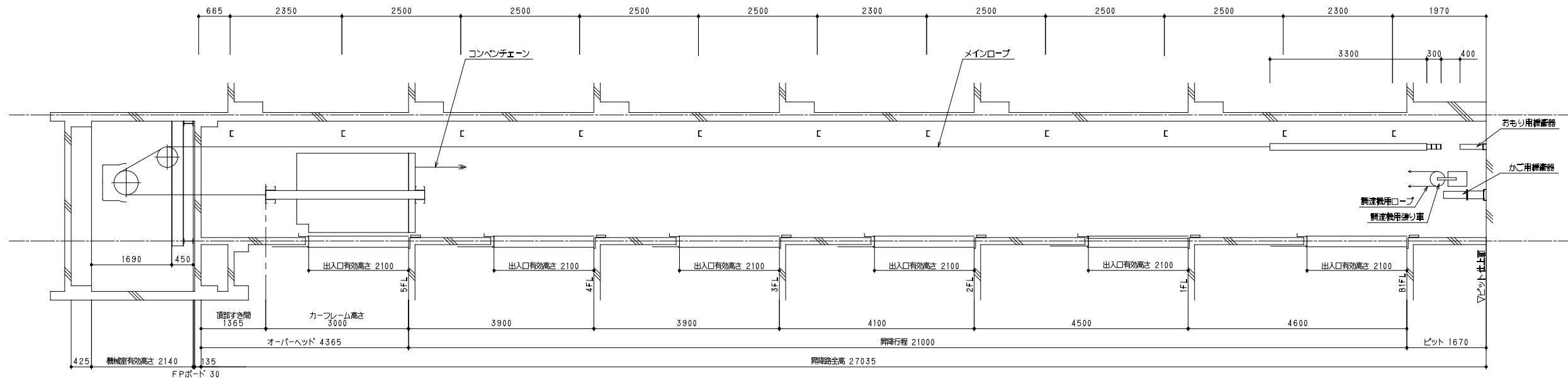
リフレッシュポロ改修エレベーター設備工事

図面名

厚生棟 エレベーター設備 昇降路平面図, 出入口平面図・正面図 (改修)

図番

EV / 8



昇降路断面図 S=1/50
(昇降路地上部高さ60m以下)

名称	既設	新設	備考
メインロープ		●	
搬送機用ロープ		●	
搬送機用滑り車		●	
コンベンチェーン		●	
かご用機器	●		
おもり用機器	●		



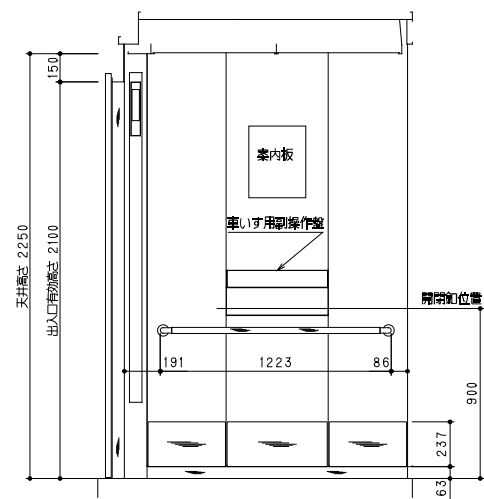
株式会社 共伸設備設計事務所

北海道知事登録 (石)第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩基

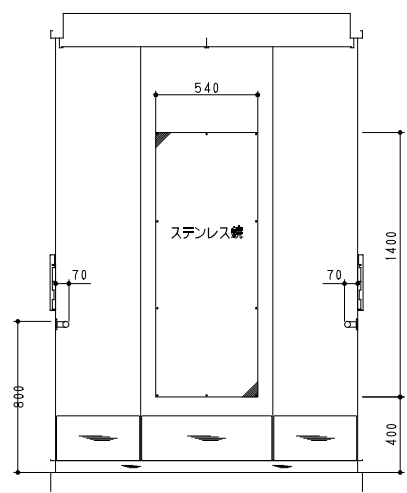
承認 担当 製図
山田 早川 早川

縮尺 A1: 1/50
A3: 1/100
設計年月日 R 3.10

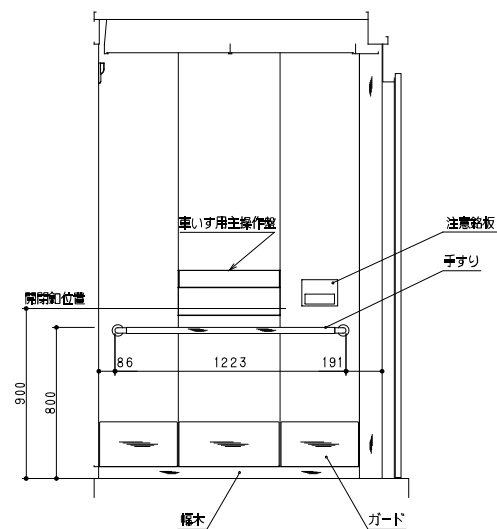
工事名 リフレサッポロ改修エレベーター設備工事
図面名 厚生棟 エレベーター設備 昇降路断面図 (改修)



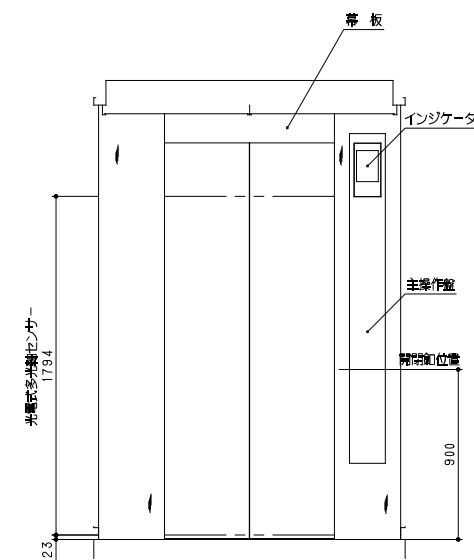
矢視 A S=1/20



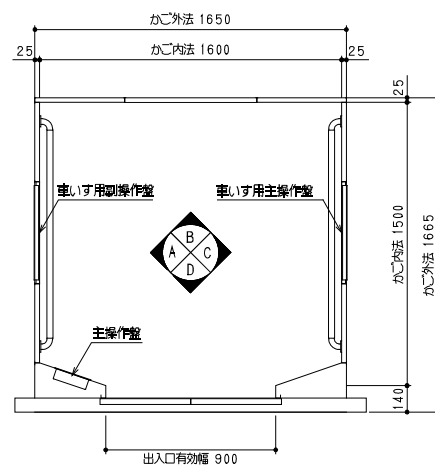
矢視 B S=1/20



矢視 C 1/20



矢視 D 1/20



かご平面図 S=1/20

かご内室仕様	
かご内法	間口 1600 mm X 奥行 1500 mm
出入口寸法	幅 900 mm X 高さ 2100 mm
積載数	積載 1000 kg 定員 15名
側壁	化粧鋼板
扉板	化粧鋼板
扉	化粧鋼板
天井	メーカー標準仕様
柱壁	ステンレスヘアライン仕上
扉木	ステンレスヘアライン仕上
床	t=2.0 ビニルタイル
敷居	硬質アルミ製
照明	LED照明
停電灯	LED
換気装置	ファン
手すり	32φ ステンレスヘアライン仕上(端部: 30φ 亜鉛ダイカスト 塗装仕上)
ガード	t=2.0 ステンレスヘアライン仕上
鏡	ステンレス鏡面仕上(ビス止め)
付属品	放送用スピーカー 案内板 床マット 視覚障がい者仕様(音声案内装置・点字) 注意銘板(車いす・視覚障がい者用) ドアゲートセンサー 光電式ドアニツク 光電式多光線ドアセンサー



株式会社

一級建築士事務所
共伸設備設計事務所

北海道知事登録 (石)第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩基

承認

山田

担当

早川

製図

早川

縮尺 A1: 1/20
A3: 1/40

設計年月日

R 3・10

工事名

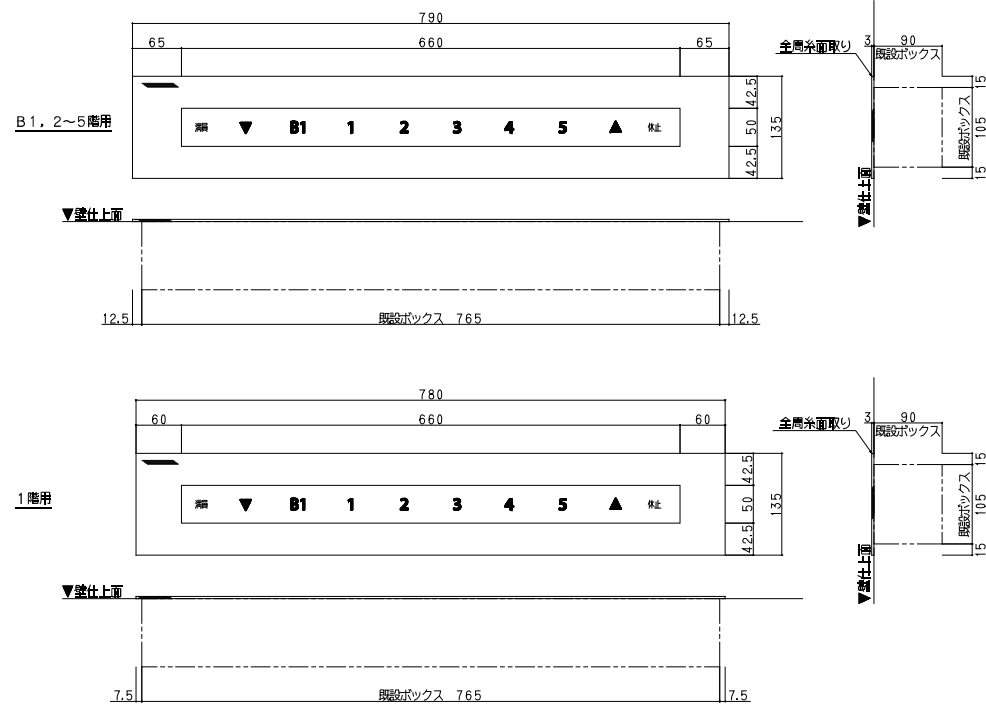
リフレッシュポロ改修エレベーター設備工事

図面名

厚生棟 エレベーター設備 かご室内詳細図(改修)

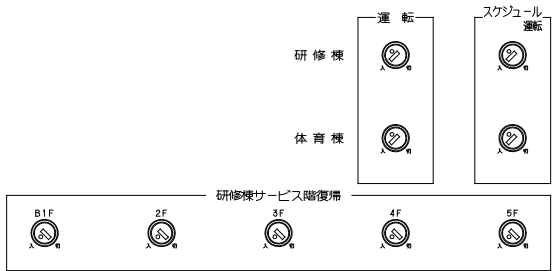
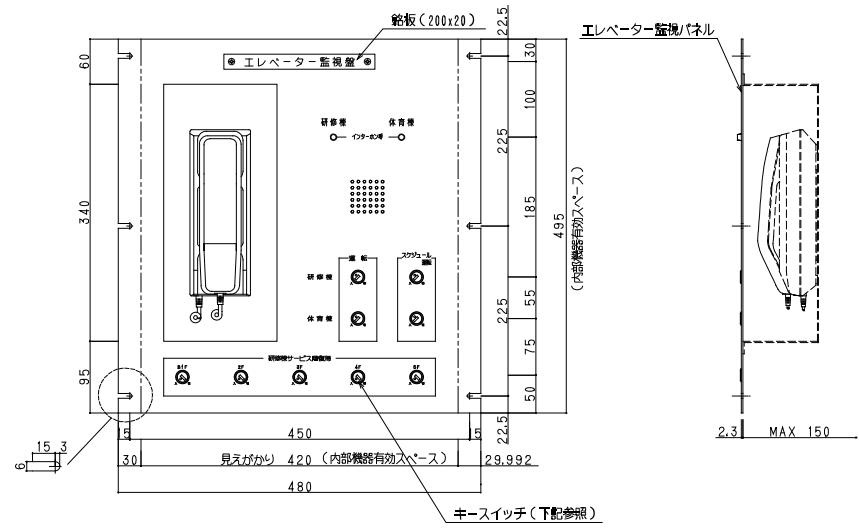
図番

EV/10



その他
1. 既設ボックスは再使用

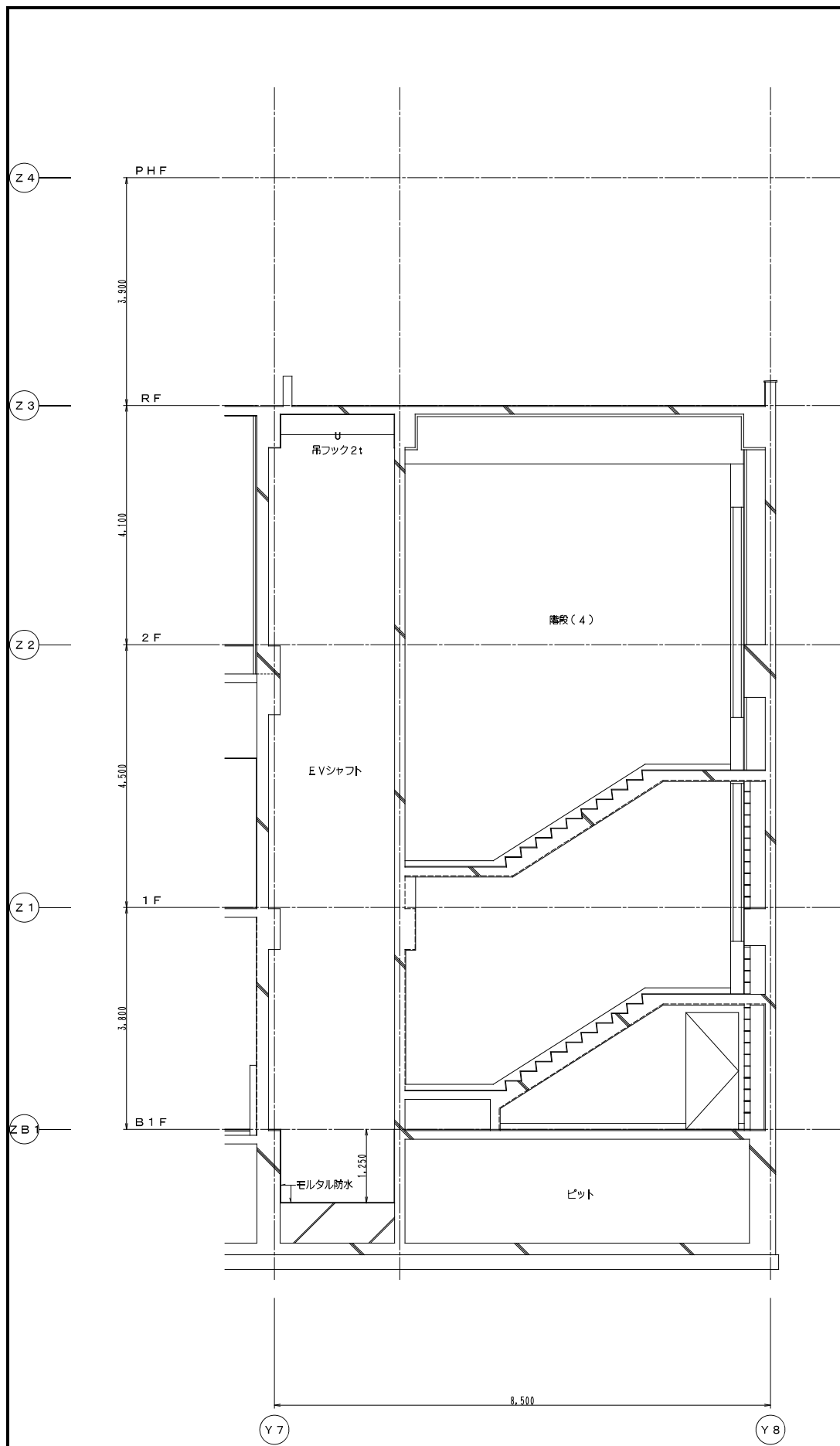
※機位解説図 S=1/5 B1. 1~5階用



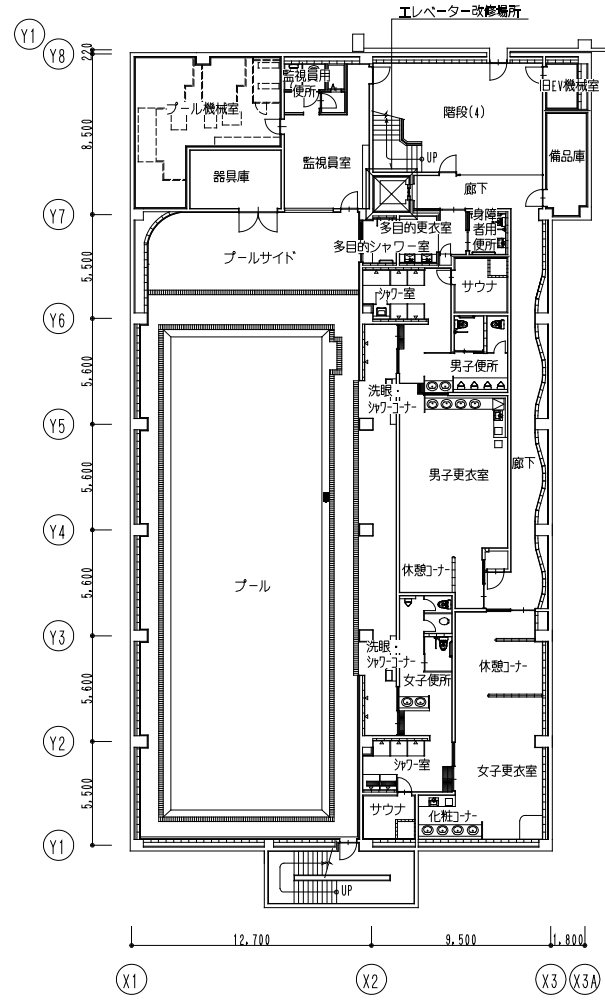
キースイッチ詳細図 (S=1/1)

- その他
- エレベーターの呼びインターホンボタンを押したときのみ、内部のブザーが鳴動します。
 - 「インターホン呼」表示灯は呼びインターホンボタンを押した時のみ点灯。
 - 通常は、運転スイッチを「入」側にしておいてください。
 - スケジュール運転は、下記による。
 - スケジュール運転スイッチを「入」側にするとあらかじめ決められた週間スケジュールでエレベーターは自動運転を行い、「切」側にするとスケジュール運転は解除され、通常運転を行います。
 - また研修時のみスケジュール運転中に切り離しになった際はサービス階に復帰させる場合は、本盤のサービス階復帰スイッチを「入」側にしてください。
 - 週間スケジュールは、別館内のマイコンタイマーによって決定。
 - 内部監視パネル外形図は省略。
 - 配線は概略図とします。

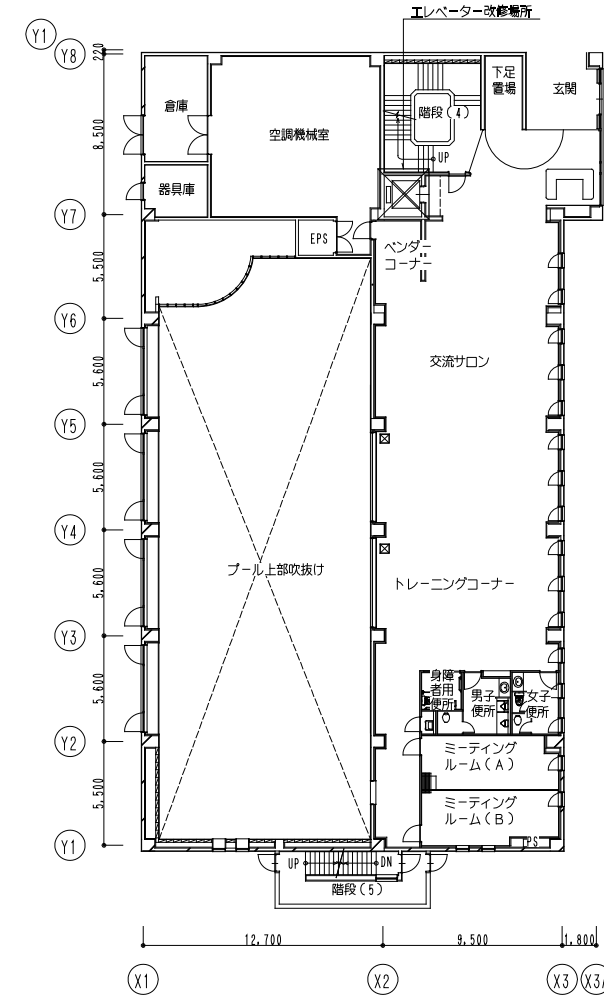
監視盤図 S=1/5 取付場所: 1階 防災管理室 (参考図)



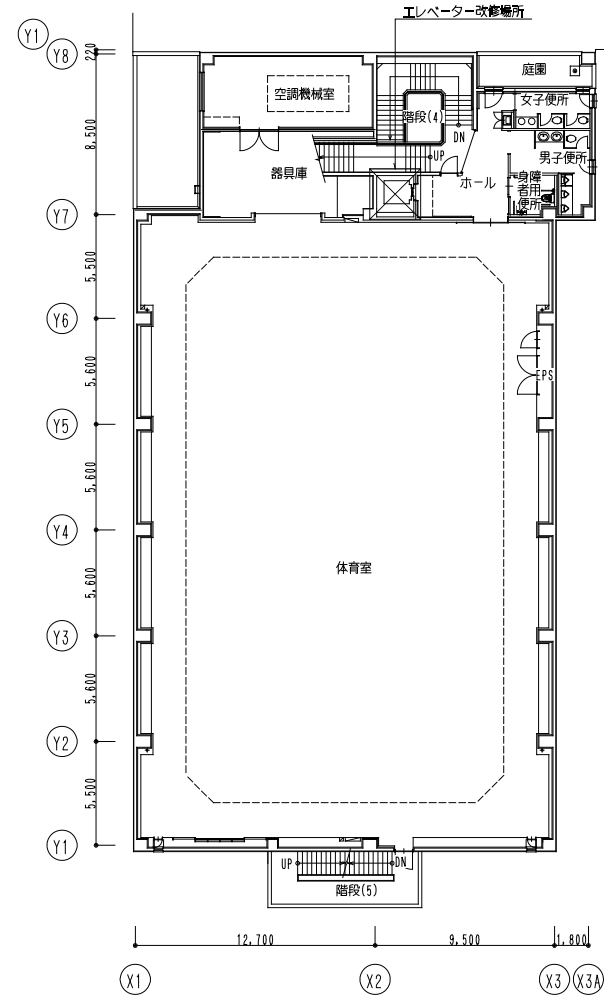
建築断面参考図 S=1/50



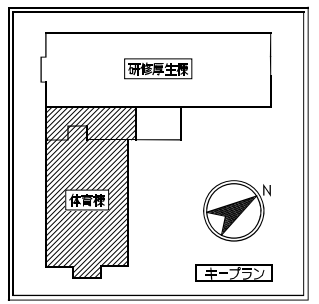
地下1階平面図 S=1/200



1階平面図 S=1/200



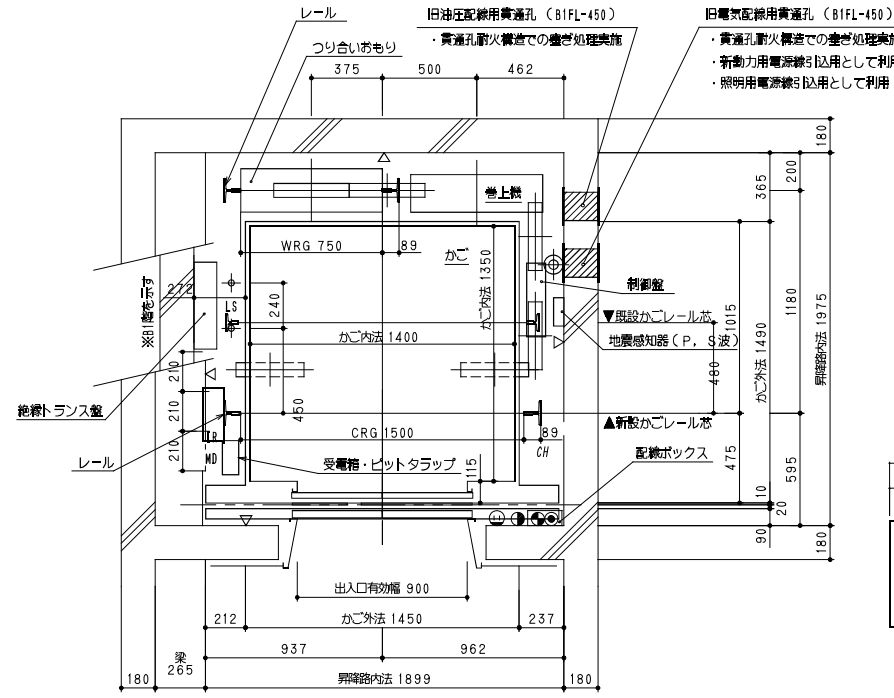
2階平面図 S=1/200



			リフレサッポロ 改修工事仕様書			既設仕様	改修仕様	既設流用	取替	新規
基本仕様	①	号機	2号機(油圧式) 体育棟	2号機(標準型機械室レス) 体育棟						
	②	用途	乗用(車イス)	同左						
	③	制御方式	可変電圧可変周波数制御方式(インバーター)	同左						
	④	操作方式	乗合全自動方式(セレクトプ・コレクティブ)	同左						
	⑤	積載質量(定員)	750kg/11名	同左						
	⑥	速度	45m/min	同左						
	⑦	電源	三相交流200V 50Hz	同左						
	⑧	停止箇所	B1・1-2階 3停止	同左						
	⑨	カゴ内法(間口x奥行)	1400x1350	同左						
	⑩	出入口(巾x高さ)	900x2100	同左						
	⑪	戸形式	2枚戸中央開き	同左						
	⑫	戸閉方式	電動式	同左						
	⑬	レール	カゴ 13kg/m オートリ5kg/m	同左						
	⑭	緩衝器	バネ式	オイル式 ISO T127-1/R						
制御改修機器	⑮	巻上機	ウォーム歯車式	PMギヤレス巻上機						
	⑯	電動機	交流電動機: 7.5kW	交流電動機: 6.2kW						
	⑰	ツナ車	径 650mm	径 750mm						
	⑱	ソラセ車	径 480mm	無						
	⑲	ロープ	14X21:2	10X4 2:1						
	⑳	制御盤	マイコン制御方式	マイコン制御方式(戸開走行保護装置対応)						
	㉑	制御ケーブル	エレベーター制御用平型ビニルケーブル	同左						
	㉒	カゴ上制御部	無	交流制御用						
	㉓	カゴドアモータ	交流制御用	同左						
	㉔	終点スイッチ	交流制御用	同左						
	㉕	連絡装置	インターホン	同左						
	㉖	乗場位置表示器	アナログ表示	アナログ表示						
	㉗	乗場ボタン	ステンレスプレート マイクロストロークボタン方式	ステンレスプレート タクタイルボタン						
	㉘	カゴ操作盤	ステンレスプレート マイクロストロークボタン方式	ステンレスプレート タクタイルボタン						
㉙	カゴ内位置表示器	デジタル表示(正カゴ操作盤組込)	液晶表示(正カゴ操作盤組込)							
付加仕様	㉚	地震管制運転装置	有(S波)	有(P波+S波 3段設定)リスタート機能付				○ ※1		
	㉛	戸開走行保護装置(UCMP)	無	有					○ ※2	
	㉜	冠水時管制運転	無	有					○	
	㉝	車イス仕様(鏡・手すり)	有	同左				○		
	㉞	視覚障がい者仕様	有	同左				○		
	㉟	火災時管制運転装置	有	同左				○		
	㊱	オートアナウンス	有	同左				○		
	㊲	監視盤へ接点出力	有	同左				○		
	㊳	光電装置	有	多光軸ドアセンサー				○		
	㊴	ドアセンサ	無	光電式ドアニック					○	
意匠仕様	㊵	乗場 三方枠	1F小枠 ステンレスヘアライン仕上、B1、2F大枠ステンレスヘアライン	同左			○			
	㊶	乗場 扉	1階 B1・2階~5階	ステンレスヘアラインエッチング仕上 鋼板塗装仕上	同左 同左			○ ○		
	㊷	乗場 敷居		硬質アルミ製	同左			○		
	㊸	カゴ室 天井		乳白色樹脂グローブ	メーカー標準仕様			○		
	㊹	カゴ室 出入口上板		化粧鋼板	同左			○		
	㊺	カゴ室 出入口柱		ステンレスヘアライン仕上	同左			○		
	㊻	カゴ室 抽壁		化粧鋼板(操作盤側: ステンレスヘアライン仕上)	同左			○		
	㊼	カゴ室 正・側面壁		化粧鋼板	同左			○		
	㊽	カゴ室 巾木		ステンレスヘアライン仕上	同左			○		
	㊾	カゴ室 扉		化粧鋼板	同左			○		
	㊿	カゴ室 敷居		硬質アルミ製	同左			○		
	㊶	カゴ室 床、タイル		ビニルタイル 2mm	同左			○		
	㊷	カゴ室 キックプレート		ステンレスヘアライン仕上	同左			○		
	その他	㊸	フェッシャープレート	無	同左			○		
㊹		火災時管制運転表示灯	有(カゴ操作盤組込)	同左			○			
㊺		冠水時管制運転表示灯	無	有					○	
㊻		停電時自動着床装置表示灯	有(カゴ操作盤組込)	同左				○		
㊼		耐震対策	有(昇降機耐震設計・施工指針 1981年版)	有(昇降機耐震設計・施工指針 2016年版)				○		
㊽		BGMスピーカー	有	同左				○		
㊾		照明トランス	有	同左				○		
㊿	インターホン及び故障時の接点支給	有	同左				○			

※1: 2014年建築基準法対応 令第129条の10第3項第二号 (平成20年国土交通省告示第1536号)
 ※2: 2014年建築基準法対応 令第129条の10第3項第一号

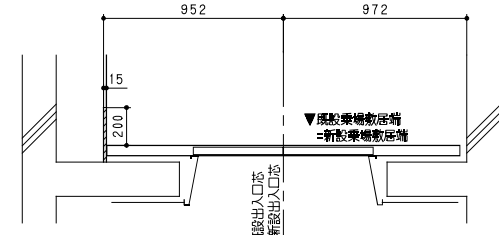
名称	既設	新設	備考
巻上機		●	
制御室		●	
絶縁トランス盤		●	
受電箱		●	
ピットタラップ		●	
地震感知器 (P, S波)		●	
かご		●	
つり合いもり		●	
レール		●	
配線ボックス		●	



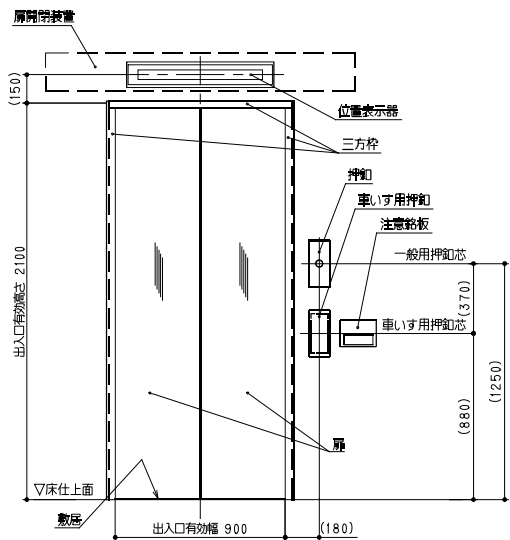
出入口周り平面図 S=1/20 (1階)

昇降路平面図 S=1/20
▽はピット仕上りを示す。
(B1, 2階)

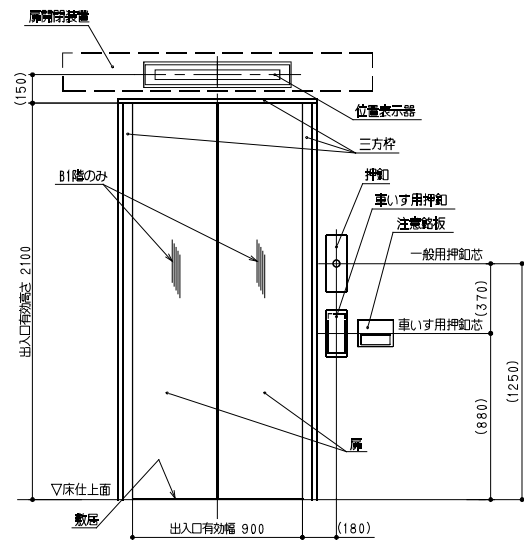
名称	既設	新設	備考
三方栓	(全階)	●	
扉	(B1, 1階)		ステンレスヘアラインエッチング仕上 (遮煙扉)
扉	(2階)	●	銅板塗装仕上 (遮煙扉)
扉閉鎖装置	(全階)		
数値	(全階)	●	
位置表示器	(全階)	●	
押釦	(全階)	●	
車いす用押釦	(全階)	●	
注意銘板	(全階)	●	車いす・視覚障がい者用



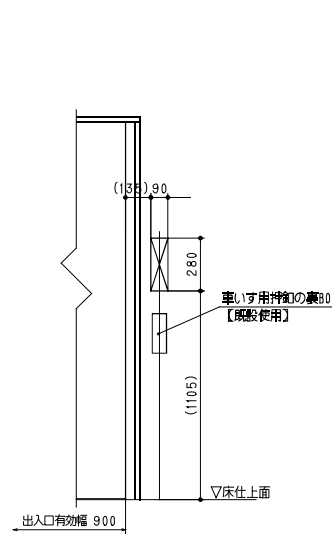
防水代置法図 S=1/20
■: 既設モルタル防水代置範囲
[B1FL-250mmからB1FL-350mmまで]
(B1階)



出入口正面図 S=1/20 (1階)

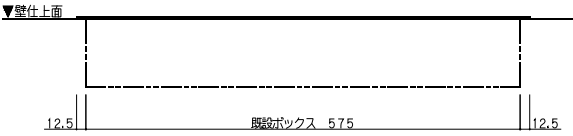
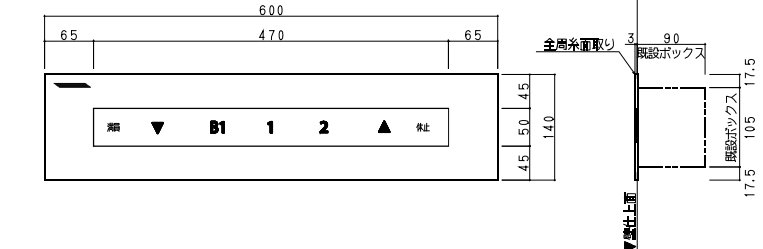


出入口正面図 S=1/20 (B1, 2階)



出入口孔側面図 S=1/20 (B1階)

記号	種別	電源設備 (1台当たり)		引込み高さ	引出し線長さ
		総容量	接続容量		
④	動力用電源 (既設線延長)	3φ 3W AC 200V 50Hz	14 22 38 168 262 428	B1FL-450	7000mm
⑤	照明用電源 (既設線延長)	1φ 2W AC 100V 50Hz	30 3.0 0.15	B1FL-200	
①	ピットコンセント	既設再使用		B1FL-200	
②	遠隔監視用無線同調線	既設再使用		1FL+2B30	100mm
③	火災発生警報用配線	HP 1, 2-2C		1F天井裏	4000mm
⑥	監視用配線	既設再使用		1FL+2B30	100mm



留意内容
 1. フェースプレートはステンレスヘアライン仕上。
 2. 表示部はブラックフェース。
 3. 方向灯 (▽▲) は、点灯時オレンジ色に光る。
 4. 番号は、点灯時オレンジ色に光る。
 5. 番号文字は点灯時赤色に光る。
 記 事
 1. 既設ボックスは再使用。

B1, 1, 2階用
乗場位置表示器詳細図 S=1/5

仕様一覧	
号 機	体 育 棟
用 途	乗用 (車いす仕様)
制御方式	インバータ制御方式 (電力回生無し)
運転操作方式	乗合系自動方式
積 載	750 kg 11 名
速 度	45 m/min
動力用電源	三相3線 200 V 50 Hz
照明用電源	単相 100 V 50 Hz
巻上電動機	6.2 kW
停止能及び数	(正面) B1, 1, 2 階 3 箇所
かご内法	(開口) 1400 mm (奥行) 1350 mm (高さ) 2235 mm
出入口寸法	(開口) 900 mm (高さ) 2100 mm
戸の方式	2枚 両引 (電動式)
荷重条件	※1 250 kg以下

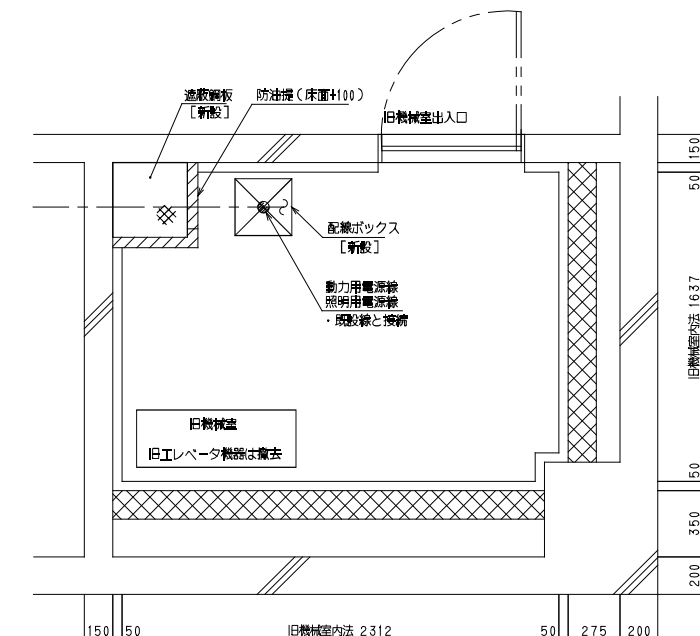
地震時制御運転	●: (P・S波) リスタート運転機能付
火災時制御運転	●
停電時自動停止	●
冠水時制御運転	●
自家発電時制御運転	-
緊急地震速報運転	-
長周期地震時制御運転	-
特 記 仕 様	絶縁トランス盤 放送用スピーカ 車いす・視覚障がい者用一体型注意銘板 音声案内装置
監視盤	●: 取替
高規格災害対策	絶縁トランス盤

下記信号をエレベータまで支給すること
 火災発生信号: 1点 (無電圧1A, 平常時OFF, 火災発生時ON連続, 接続容量DC 2.4V 0.1A)
 いたする・取替の少ない番号とする。

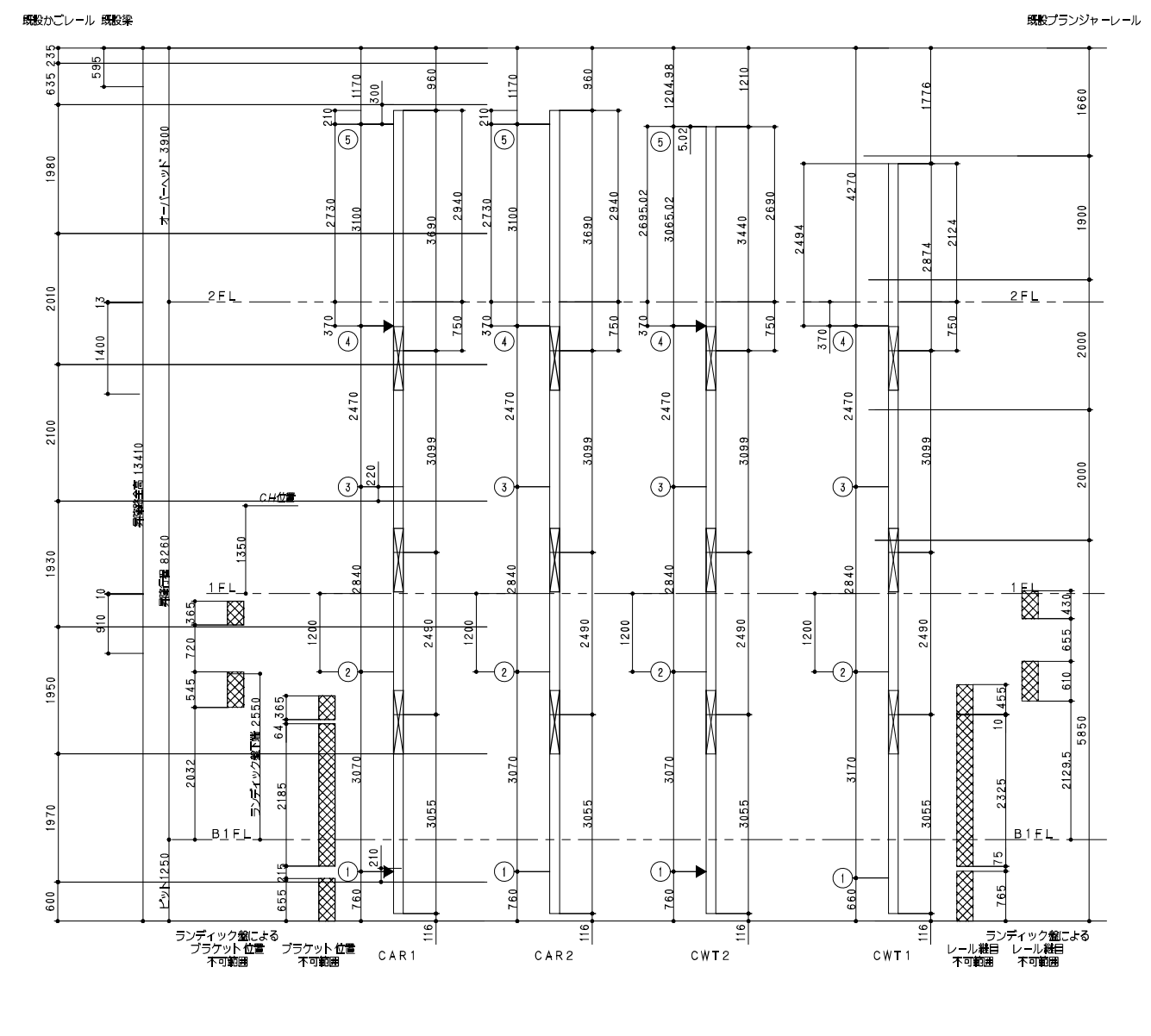
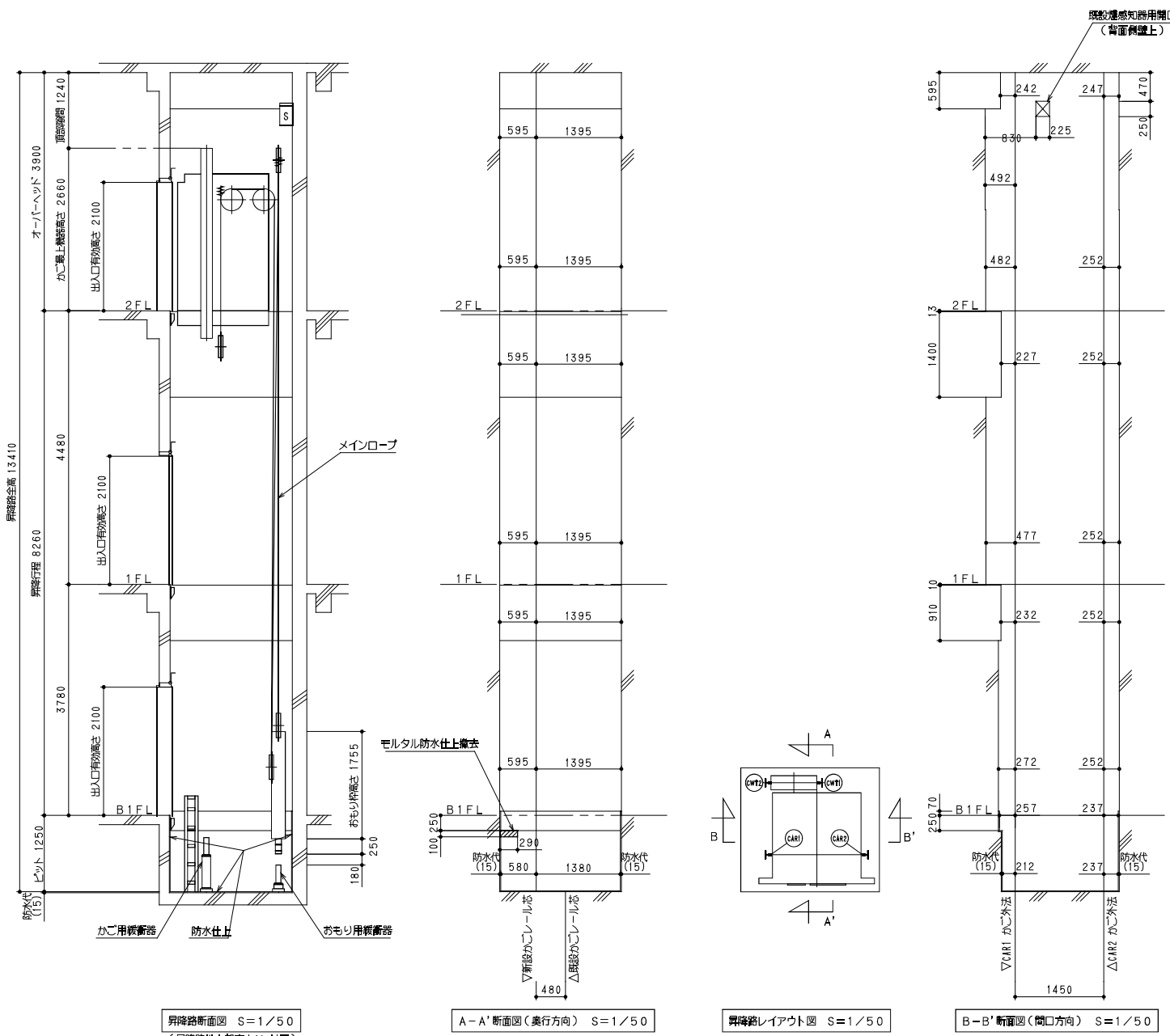
基本仕様
最速停止運転
戸閉不能時救出運転
乗り過ぎ検出 (警報ブザー及び音声案内)
各種強制停止運転 (各停止種)
昇降機新設計・施工指針 (2016年版) 対応
戸開定行保護装置
警報クラス (A14)

造作エレベータ乗場ドア
認定番号 CAS-0599 (認定指第4108号)
B1, 1, 2 階 乗場ドアは、上記認定品とする。
認定条件通り停電時自動復帰装置と火災警報運転 (自動) を合わせて設置しております。

造作エレベータ乗場ドア設置上の注意事項
・造作エレベータ乗場ドア設置条件として、建物の火災感知器をエレベータ制御室へ供給いただく必要があります。
・建物側で自動火災感知器の設置警報が無い場合においても、造作エレベータ乗場ドア設置部のエレベータホールに煙感知器などの火災感知器を設備の上、火災感知器をエレベータ制御室へ供給願います。



旧機械室平面図 S=1/20



昇降路断面図 S=1/50
(昇降路地上部高さ60m以下)

A-A'断面図(奥行方向) S=1/50

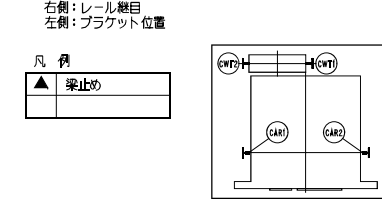
昇降路レイアウト図 S=1/50

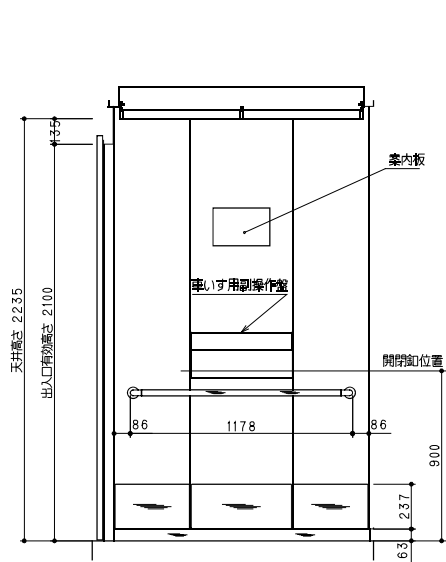
B-B'断面図(間口方向) S=1/50

レール取付図 S=1/50

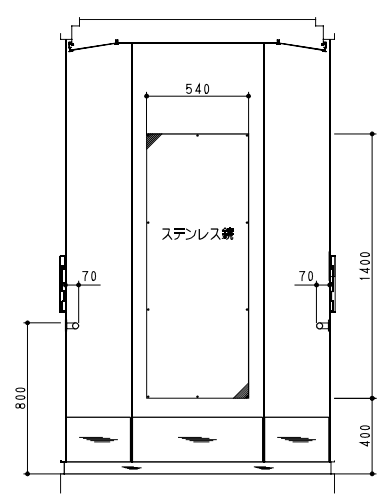
名称	既設	新設	備考
メインロープ		●	
かご用誘導器		●	
おもり用誘導器		●	
S 煙感知器	●		点検口用スイッチは新設

名称	既設	新設	備考
防水仕上	●		モルタル防水仕上

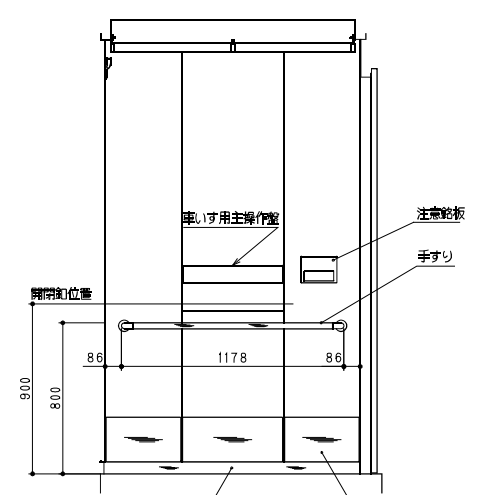




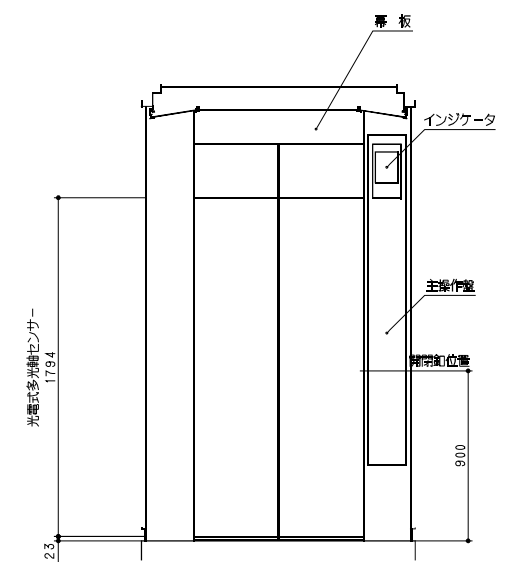
矢視 A S=1/20



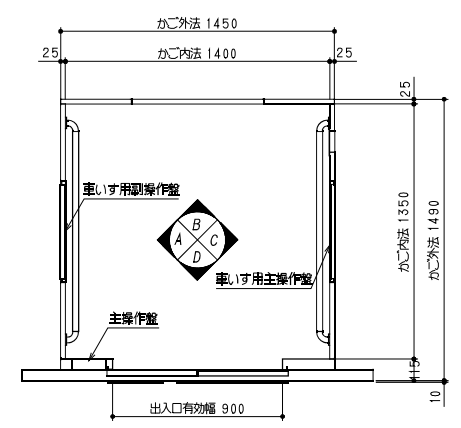
矢視 B S=1/20



矢視 C S=1/20



矢視 D S=1/20



かご平面図 S=1/20

かご内装仕様	
かご内法	間口 1400 mm X 奥行 1350 mm
出入口寸法	幅 900 mm X 高さ 2100 mm
積載	積載 750 kg 定員 11名
側壁	化粧鋼板
扉板	化粧鋼板
扉	化粧鋼板
天井	メーカー標準仕様
袖壁	ステンレスパイプレーション仕上
幅木	ステンレスヘアライン仕上
床	t=2.0 ビニルタイル
敷居	硬質アルミ製(補助敷居付)
照明	LED照明
停電灯	LED
換気装置	ファン
手すり	32φ ステンレスヘアライン仕上(補助: 30φ 理石ダイカスト塗装仕上)
ガード	t=2.0 ステンレスヘアライン仕上
鏡	ステンレス鏡面仕上(ビス止め)
付属品	床マット 放送用スピーカー 視覚障がい者仕様(音声案内装置・点字) 注意銘板(車いす・視覚障がい者用) 案内板 ドア開放センサー 光電式ドアック 光電式多光軸ドアセンサー



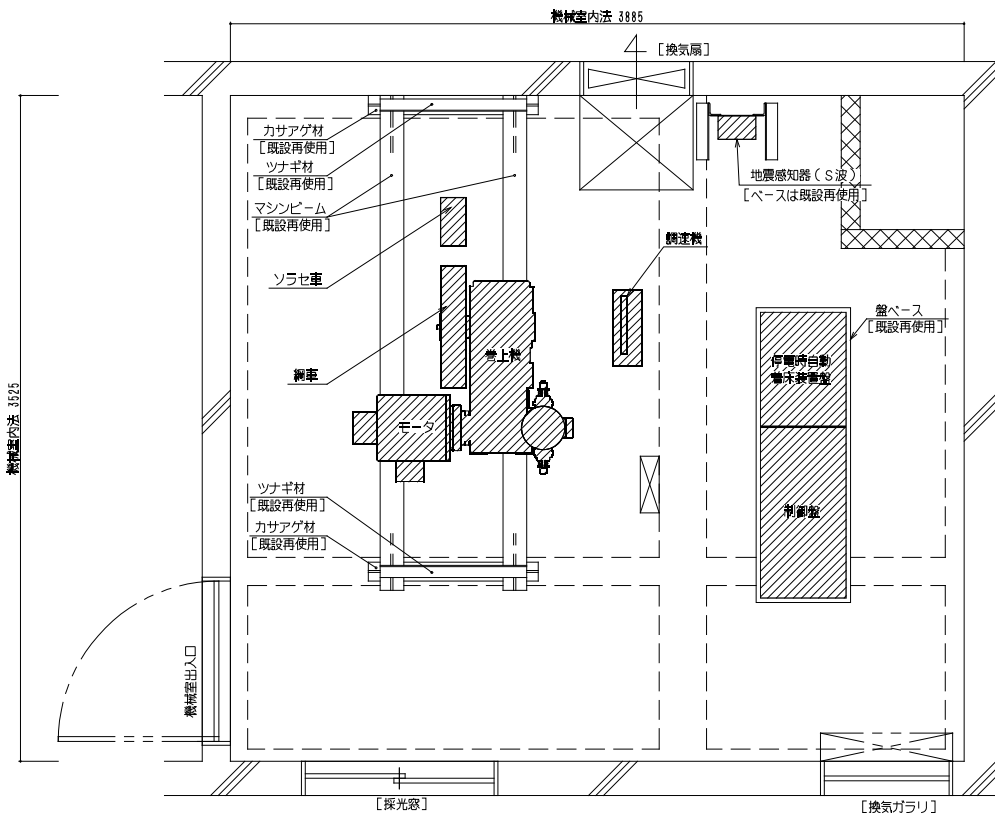
株式会社 一級建築士事務所 共伸設備設計事務所

北海道知事登録 (石)第 3038号
一級建築士登録 第230654号
設備設計一級建築士登録 第 206号
早川 浩基

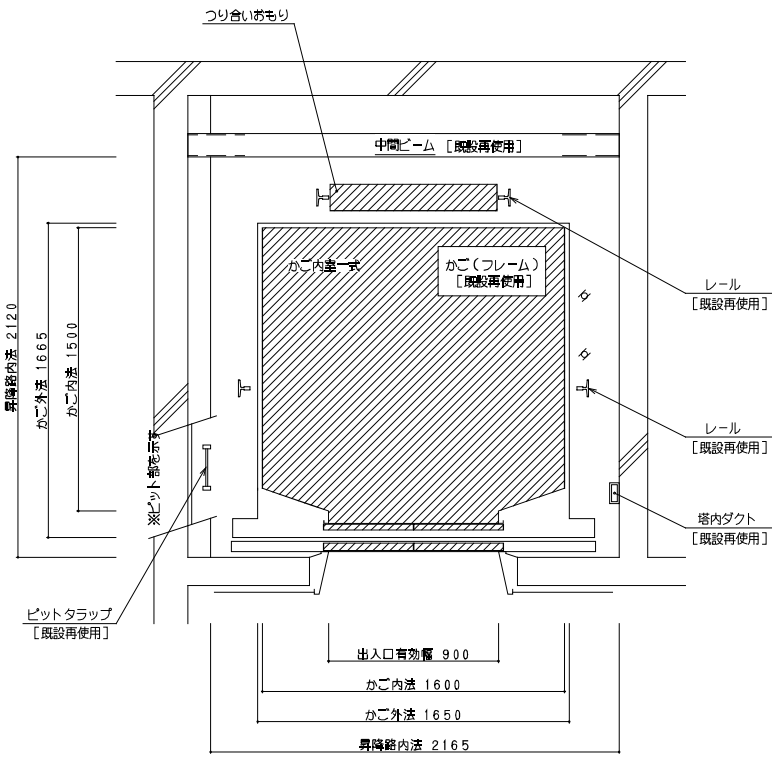
承認 担当 製図
山田 早川 早川

縮尺 A1: 1/20
A3: 1/40
設計年月日 R 3・10

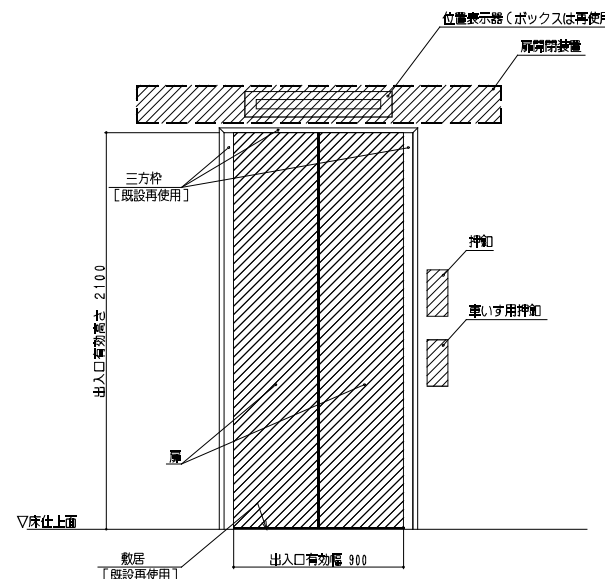
工事名 リフレサッポロ改修エレベーター設備工事
図面名 体育棟 エレベーター設備 かご室詳細図(改修)



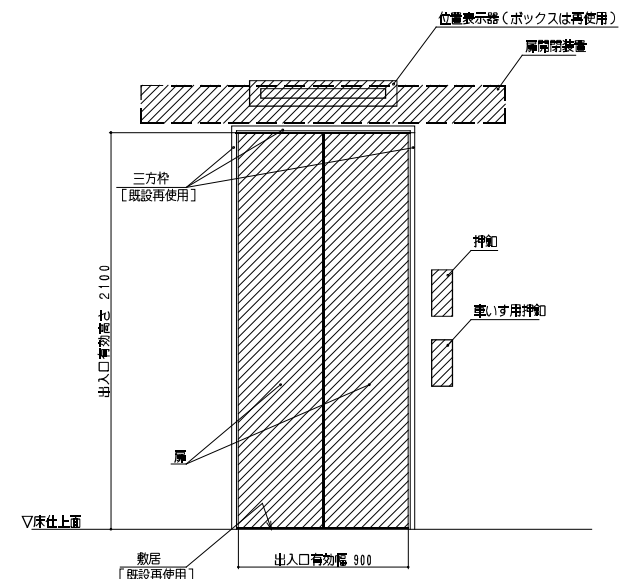
機械室平面図 S-1/20
※フロアダクト・配管は撤去



昇降路平面図 S-1/20

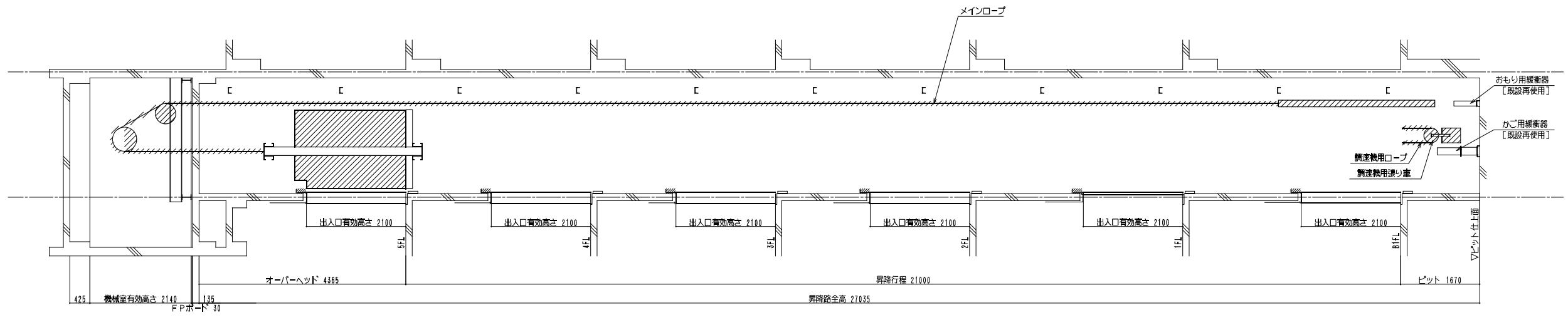


出入口正面図 S-1/20
(B1, 2-5階)

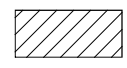


出入口正面図 S-1/20
(1階)

: 本工事での撤去部分を示す。






昇降路断面図 S-1/50

 : 本工事での撤去部分を示す。



株式会社 共伸設備設計事務所

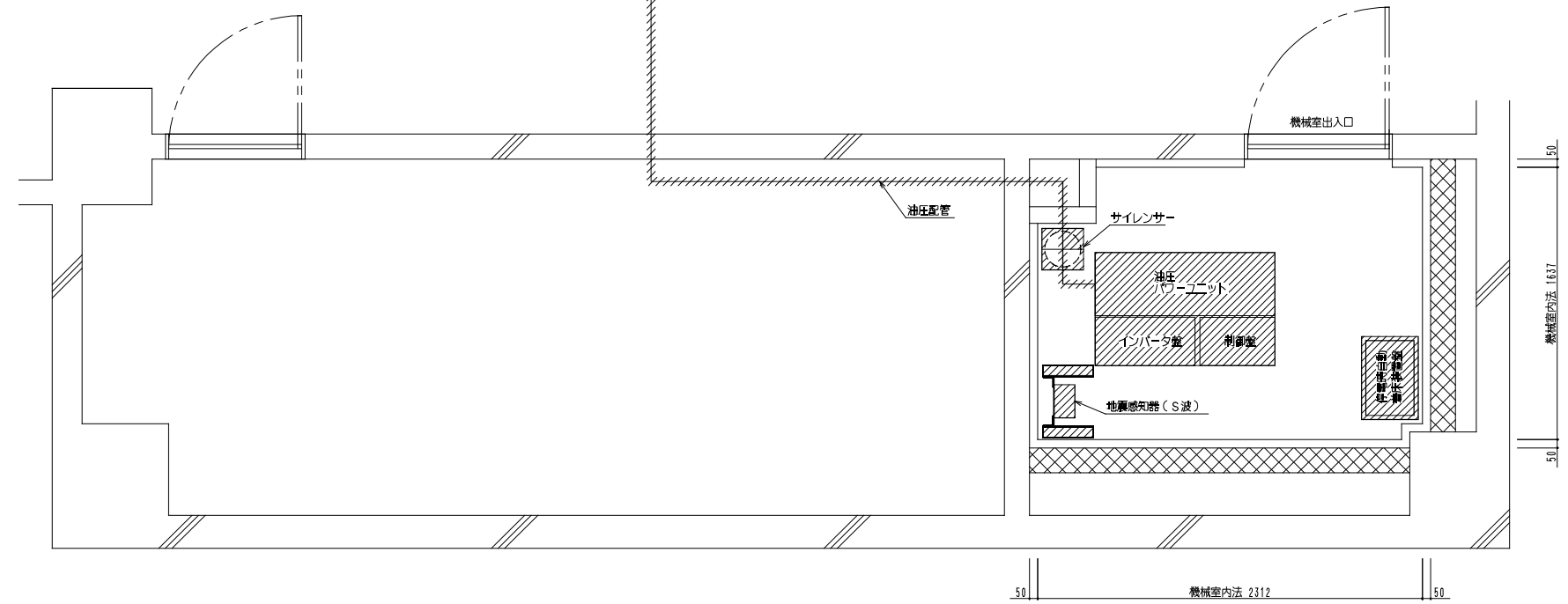
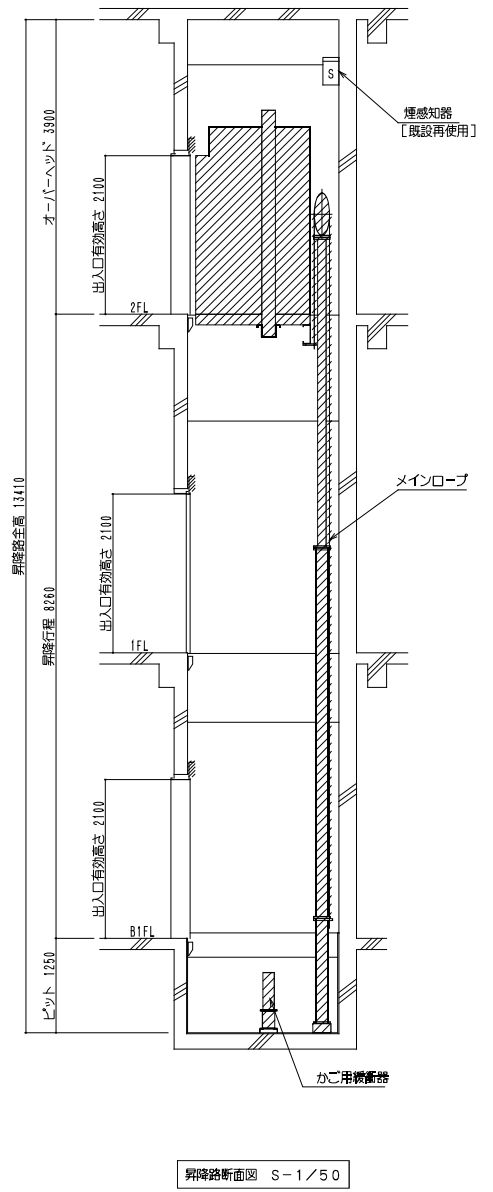
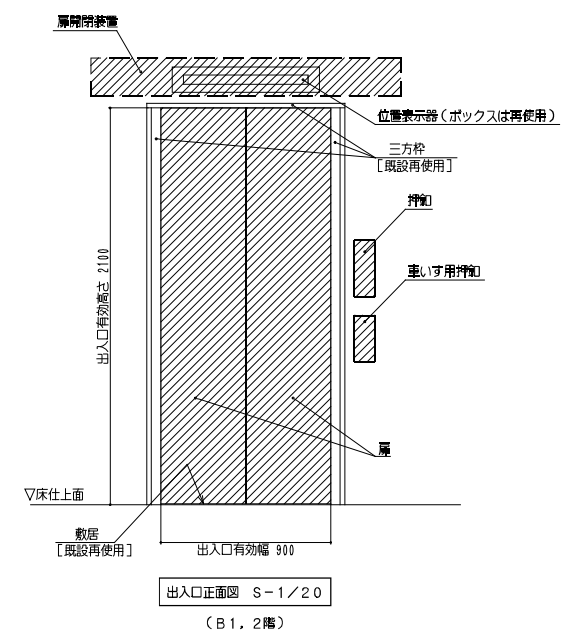
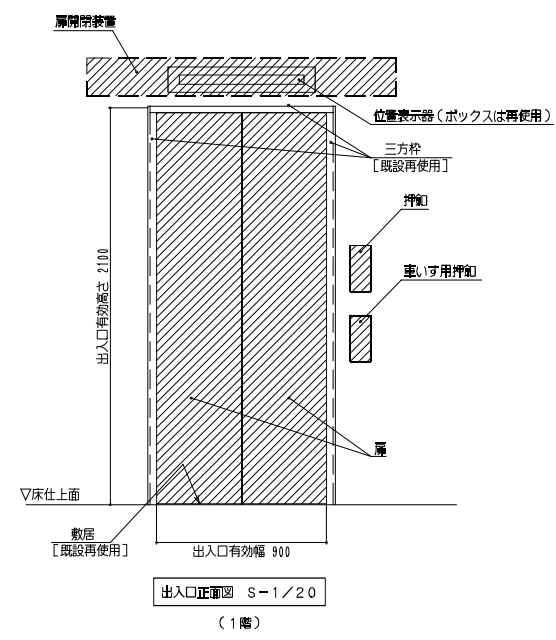
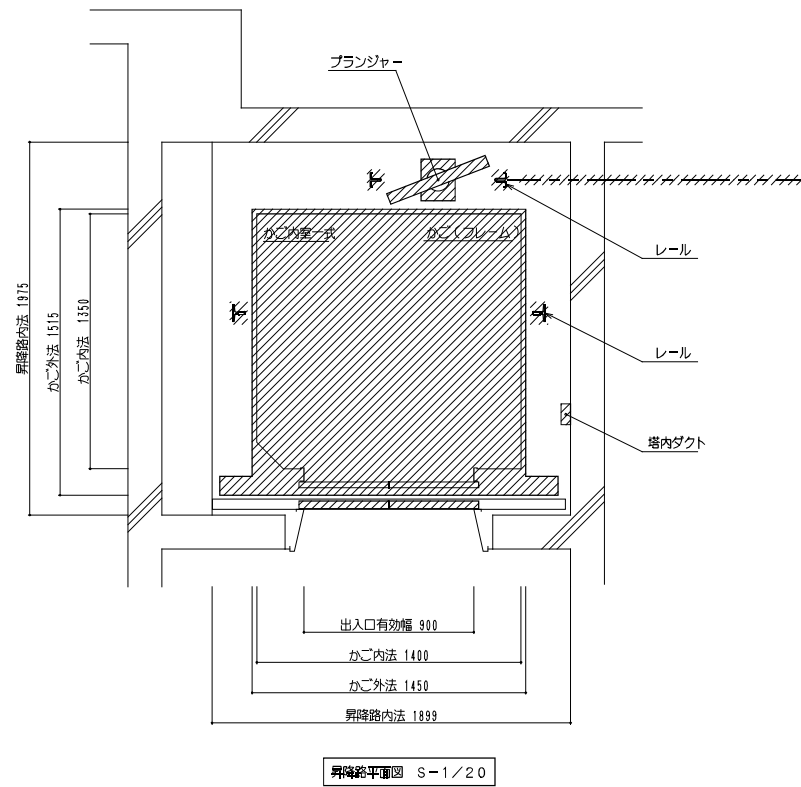
北海道知事登録 (石)第 3038号
 一級建築士登録 第230654号
 設備設計一級建築士登録 第 206号
 早川 浩基

承認	担当	製図
		

縮尺 A1 : 1/50
 A3 : 1/100
 設計年月日 R 3・10

工事名 リフレサッポロ改修エレベーター設備工事
 図面名 厚生棟 エレベーター設備 昇降路断面図 (撤去)

図番 EV / 18



：本工事での撤去部分を示す。